令和8年度

学校要覧
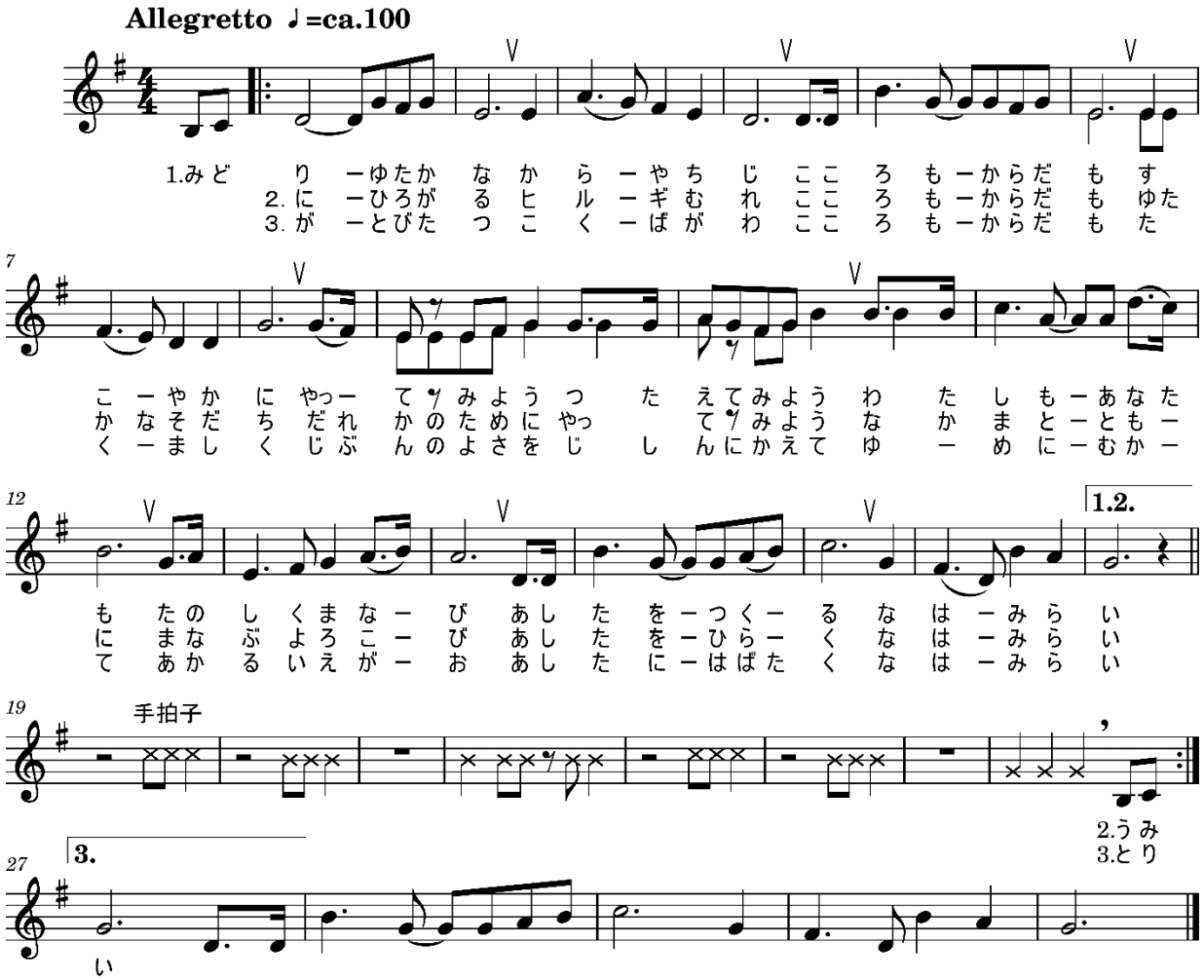
NAHA　みらい
OKINAWA

沖縄県立那覇みらい支援学校

〒900−0024 那覇市古波蔵4丁目10番17号
TEL 098−855−7831
FAX 098−855−7832

沖縄県立那覇みらい支援学校校歌

作詞：新垣ゆかり
作曲：照屋紀子
補作・編曲：上原直衛



沖縄県立那覇みらい支援学校校歌

作詞：新垣ゆかり
作曲：照屋紀子
補作・編曲：上原直衛

一

緑豊かな　瓦屋頂（からやちじ）
心も体も　健やかに
やってみよう　伝えてみよう
わたしも　あなたも　楽しく学び
明日をつくる　那覇みらい

二

湖（うみ）に広がるヒルギ群（むれ）
心も体も　豊かな育ち
誰かのために　やってみよう
仲間とともに　学ぶよろこび
明日をひらく　那覇みらい

三

鷺（とり）が飛び立つ　国場川
心も体も　たくましく
自分の良さを　自信にかえて
希望（ゆめ）に向かって　明るい笑顔
明日にはばたく　那覇みらい

沖縄県立那覇みらい支援学校

校章



～校章の願い～

「多様性のある子どもたちがのびのびと育ち、未来を想像して欲しい」

〇鳥がみらいへ羽ばたく様

〇複数の若葉がだんだん色濃くなることで、成長していく様

〇それぞれの想い（中央下の円形）が未来に向かって大きくなっていく様

この3つのイメージを重なり合わせて表現しています。

（デザイン　稲田　政博氏）

― 目　次 ―

Ⅰ　学校の概要（施設概要）

１　校舎配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２　沿革 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２～10
３　歴代管理職及びPTA会長一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

Ⅱ　本校の教育計画（学校経営計画）

１　グランドデザイン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12～13
２　教育課程編成の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14～15
３　教育課題に対する指導の重点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・15～16

Ⅲ　各学部の教育計画

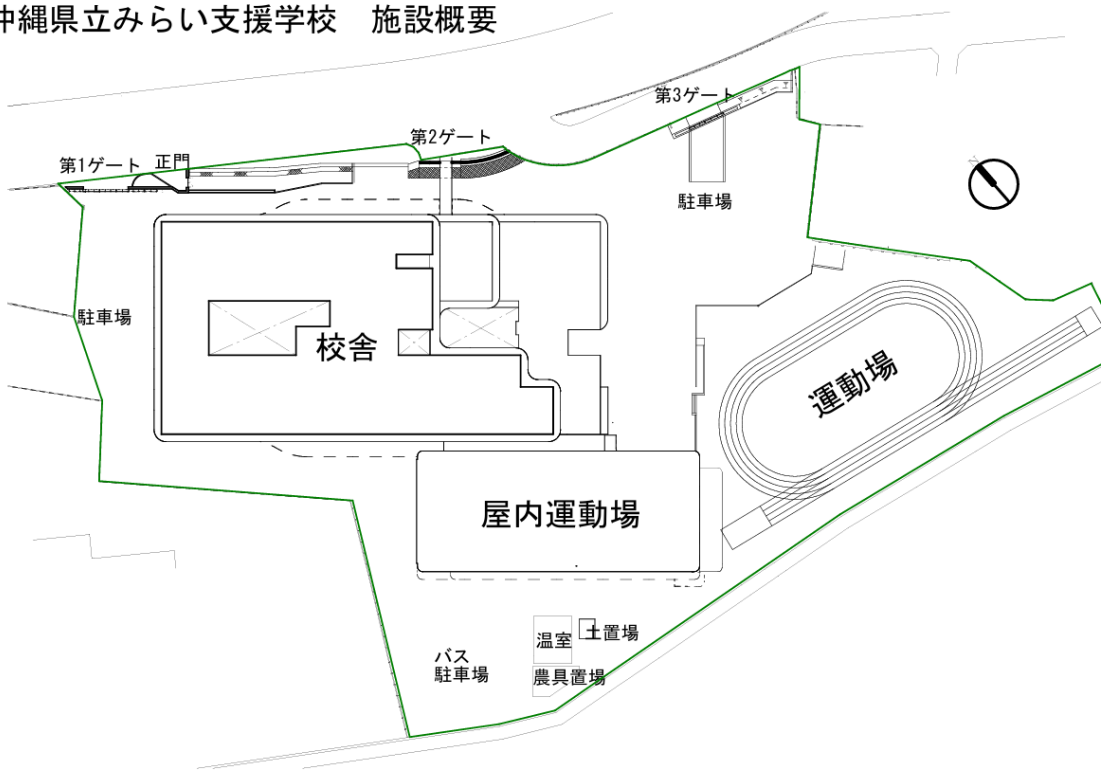
１　各学部の目標一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
２　小学部教育課程、日数及び時間配当・・・・・・・・・・・・・・ 18～36
３　中学部教育課程、日数及び時間配当 ・・・・・・・・・・・・・・37～56
４　高等部教育課程、日数及び時間配当 ・・・・・・・・・・・・・・57～78
５　教科書一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79～80

Ⅳ　児童生徒に関すること

１　児童生徒数・児童生徒の居住市町村別数・・・・・・・・・・・・ 81～82
２　学級編制(小、中、高)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
３　進路状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
４　日課表(小中高)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85

Ⅴ　１　スクールバス運行関係　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86～94

沖縄県立みらい支援学校　施設概要



敷地概要		建築概要【校舎棟】	
計 画 地	那覇市古波蔵四丁目 113-1　他４筆	建築面積	4,739.18 ㎡
敷地面積	17,945.65 ㎡	階　　数	地上４階建
用途地率	市街化区域　第２種住居地域・準住居地域	延床面積	14,271.04 ㎡
建 蔽 率	60%	構　　造	鉄筋コンクリート造　一部鉄筋
容 積 率	200%	建築概要【屋内運動場・プール棟】	
主要用途	特別支援学校（小中学部、高等部）	建築面積	1,716.42 ㎡
駐車台数	８０台	階　　数	地上１階建
		延床面積	3,643.76 ㎡
		構　　造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨一部 PC
全体建築概要		建築概要【屋外施設：トイレ,農具置き場,土置き場,温室】	
建築面積	6,690.15 ㎡	建築面積	234.55 ㎡
延床面積	1,8149.35 ㎡	階　　数	地上１階建
文部面積	15,693 ㎡	延床面積	234.55 ㎡
最高高さ	19.95m	構　　造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
設備		【屋内運動場・プール棟】	
	エアコン（電気）	温水プール	
		エアコン（諸室：電気）	
		エアコン（アリーナ：ガス）	





2　沿　革

平成27年

10月	沖縄県教育委員会会議（10月定例会）において学校設置基本方針を決定

平成29年

11月	県教育委員会会議(11月定例会）において校名を「沖縄県立那覇みらい支援学校」と決定した。

令和３年

2月	（令和３年第1回県議会） ２月議会において、「沖縄県高等学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例」が議決され、令和３年10月１日に学校設置が決定。
4月 1日	県立学校教育課に「那覇みらい支援学校開校準備室」を設置。 室長：新垣ゆかり、主任指導主事：津波佳和、主査：大城真紀子、指導主事：圓雅之、照屋紀子、中曽根祐子、主任：稲嶺健司
６月 10日	沖縄県立特別支援学校管理規則を「別表第１中に沖縄県立那覇みらい支援学校を加える。」の改正し、令和３年 10 月１日から施行。
10月1日	沖縄県立那覇みらい支援学校　学校設置。 校長：新垣ゆかり、教頭：津波佳和、事務長：大城真紀子、主幹教諭：照屋紀子、教諭：圓雅之、中曽根祐子、主任：稲嶺健司
11月10日	第1回那覇みらい支援学校PTA発足準備委員会 関係5校（島尻特、大平特、西崎特、那覇特、鏡が丘特）PTA代表者参加
2月19日20日	内覧会（転学児童生徒及びその他関係者）
2月21日	那覇みらい支援学校外構整備工事完了
2月24日	那覇みらい支援学校グラウンド整備工事完了
3月8日9日	高等部入学者選抜学力検査（関係4校で実施）
3月13日	地域内覧会（地域住民及び県内特別支援学校職員等対象）
3月15日	高等部一般入試合格発表（ホームページ掲載）

令和4年度

4月1日	教頭：友寄英一郎　他　140名発令 転入学生　小学部：81名、中学部：40名、高等部：48名　計169名
4月7日	開校式・始業式　半嶺満沖縄県教育長より開校宣言
4月11日	入学式　小学部1年：19名、中学部1年：16名、高等部1年：35名　計70名
4月22日	新入生親睦交流会
5月13日	（高）生徒会役員選挙
5月27日	（小・中・高）児童生徒総会
6月6日	（高）前期就業体験（17日迄）
6月8日	玉城康裕（沖縄県知事）学校視察
6月9日	（中）生徒会役員任命式
6月22日	火災避難訓練
6月24日	（高）生徒総会
7月26日	特別支援学校中学部総合文化祭（31日迄）
9月15日	（中２年）宿泊学習：沖電開発水産養殖研究センター、アメリカンビレッジ、ザ・ビーチタワー（16日迄）
9月14日	（高）豊見城高校との交流
9月30日	感謝会（開校1年目を祝い学校設立に関係する皆様に感謝する会）
10月3日	（中）校内実習（7日迄）
10月4日	（高２年１F）修学旅行（県内1泊2日）かりゆし水族館、こどもの国等

10月17日　高等部後期就業体験（28日迄）
那覇みらい支援学校作品展示会（モスバーガーパレット店内）
10月21日　（小５年）宿泊学習：ホテルオーシャン那覇国際通り、スカイレーン、おきなわワールド（22日迄）
10月27日　（中）修学旅行（1泊2日）美ら海水族館、むら咲むら、ホテルゆがふいんおきなわ
11月1日　第７０回全琉小・中・高校図画作文書道コンクール　図画
最優秀賞（1名）、優秀賞（1名）、優良賞（2名）、佳作（4名）
11月4日　令和４年度第１回特別支援学校技能検定
【メンテナンス部門　テーブルふき　１級】（1名）
【メンテナンス部門　モップ　１級】（1名）
【接客部門　喫茶サービス　１級】　（1名）
【パソコン操作部門　ワード文字入力】２級（1名）

11月19日　障害者交流事業ステージイベント（沖縄特別支援学校音楽研究会発表会）
11月24日　第34回沖縄県特別支援学校体育大会（沖縄市陸上競技場）
11月29日　（高2・3年４F）修学旅行～12/2（3泊4日）東京都、千葉県
12月10日　沖縄県中学校総合文化祭
1月13日　（高）特設授業（薬物乱用防止）、実用英語技能検定
1月24日　第１回みらい祭（小1･5年：2月1日、小2･6年：1月31日、小3･4年：2月2日、
中：2月25日、高1年：1月24日、高2･3年：1月27日
テーマ「新時代は那覇みらいだ 輝け みらい祭 第１回、スタートだ!!!」
1月25日　令和４年度第２回特別支援学校技能検定
【メンテナンス部門　テーブルふき】1級 （1名）
【メンテナンス部門　ダストクロス　2級 （1名）
【接客部門　喫茶サービス】2級（1名）
【パソコン操作部門　エクセル数字入力】1級（3名）2級（3名）

2月3日　第31回沖縄県特別支援学校駅伝競走大会（県総合運動公園サブグランド）
中学部準優勝　高等部　Bパート準優勝
2月9日　漢字検定合格者　【6級】1名【7級】4名【8級】1名【9級】3名【10級】7名
2月10日　（小）児童会役員選挙、（中、高）生徒会役員選挙
2月13日　第82回全国教育美術展　【特選】(2名)
2月21日　沖縄そば作り体験（喫茶班：講師来校　22日迄）
2月24日　（高）職業講話「就労に向けた心得、今できることは」講師：翁長克
3月3日　（高）3年生を送る会
3月6日　（小）卒業生を送る会
3月7日　県立学校入学者選抜学力検査（8日迄）
3月14日　（中）卒業生を送る会
3月15日　高等部合格発表
3月17日　第１回高等部卒業式・謝恩会（卒業生29名）
3月23日　第１回小・中卒業式（小学部21名、中学部16名）
3月24日　修了式・離任式

令和５年度

4月1日　教頭：知念元喜　他　76名発令
4月7日　始業式　小学部：83名、中学部：39名、高等部：58名　計180名
4月10日　入学式　小学部1年：26名、中学部1年：25名、高等部1年：30名　計81名
4月10日　給食スタート（小１除く、児童生徒）
4月24日　（小）新入生、転入生を迎える会

4月28日　（高）新入生・転入生歓迎会
5月9日　火災避難訓練
5月10日　PTA総会
5月12日　児童生徒総会
5月29日　（高）前期校内・現場実習（6月9日迄）
7月　第29回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭ポスターの部【優秀賞】（中3）
7月13日　（中２年）宿泊学習：沖電開発水産養殖研究センター、アメリカンビレッジ、ザ・ビーチタワー（14日迄）
8月21日　PTA進路合同説明会
9月5日　（中）校内実習（7日迄）
9月12日　（高）豊見城高校との交流
9月13日　（高）郷土芸能鑑賞会（南風原高校）
9月14日　（高）校外学習：平和記念資料館
9月15日　地震火災避難訓練
9月28日　(小５年)宿泊学習：おきなわワールド、ユインチホテル南城（29日迄）
10月2日　（高）後期校内・現場実習（13日迄）
10月18日　（中）修学旅行（2泊3日）大阪散策、ラピート、USJ（20日迄）
10月24日　（高）小禄高校との交流
10月26日　令和５年度第１回特別支援学校技能検定
【メンテナンス部門　テーブルふき　１級】
金城愛里(高２）、真喜志康汰(高２）、他2名
【メンテナンス部門　モップ　１級】　1名
【接客部門　喫茶サービス　１級】
大城優李（高２）、他2名
【パソコン操作部門　ワード文字入力　1級】　1名
【パソコン操作部門　エクセル数字入力　1級】
金城愛里(高２）、他3名
10月31日　（小６年）修学旅行（11月1日迄）
11月　日本数学検定合格者
【10級】1名（中３）　【11級】1名（中1）
実用英語技能検定
【3級】1名（高2）
11 月　第71回全琉小･中･高校 図画･作文･書道コンクール
作文　【最優秀賞】2名（高2、小6）
【優秀賞】3名（小6）
図画　【最優秀賞】1名（高1）【優秀賞】2名（高1）
沖縄県立博物館・美術館アートコンクール
【優秀賞】2名（中2、高1）
11月12日　第1回　体育祭
11月22日　第35回沖縄県特別支援学校体育大会（沖縄市陸上競技場）
【高等部】
代表男子100ｍ3位 （3年）
混成400ｍＲ3位
11月24日　地震津波避難訓練
11月26日　（高）修学旅行（2泊3日）東京、千葉
スカイツリー・東京ディズニーランド、フジテレビ等（28日迄）
12月5日　芸術鑑賞会（フコク生命コンサート）

12月8日　PTA生活介護事業所説明会
12月13日　セイコーエプソンゆめ水族園
12月21日　（中）開邦高校との交流
1月　第61回沖縄教育版画コンクール
【特選】2名（高3、中1）【優秀賞】1名(高１)
1月12日　芸術鑑賞会（MONGOL800＆粒マスタード安次嶺）
1月15日　学校給食週間（19日迄）
1月19日　令和５年度第２回特別支援学校技能検定
【メンテナンス部門　テーブルふき】1級　3名
【メンテナンス部門　ダストクロス　1級　2名
【接客部門　喫茶サービス】1級　1名（高１）
【パソコン操作部門　ワード文字入力】２級　1名
【パソコン操作部門　エクセル数字入力】1級　7名
2月2日　第32回沖縄県特別支援学校駅伝競走大会（県総合運動公園サブグランド）
Aパート１位
区間賞　[3区3位、4区1位、5区1位、6区1位、7区2位]
2月9日　漢字検定合格者
【8級】(高2）1名、(中3)１名　【9級】（小6）1名、（中3）3名
【10級】（小4）1名、（中1）1名、（中3）1名
2月16日　(高)生徒会役員選挙
3月1日　(高)3年生を送る会
3月6日　県立学校入学者選抜学力検査（7日迄）
3月14日　高等部合格発表
3月15日　第2回高等部卒業式・祝賀会(式終了後)
3月19日　第2回小・中卒業式

令和６年度

4月1日　校長：粟國　静夫　他　91名発令
4月8日　始業式　小学部：95名、中学部：39名、高等部：65名　計199名
4月9日　入学式　小学部1年：16名、中学部1年：15名、高等部1年：39名　計70名
給食スタート（小１除く、児童生徒）
4月17日　（中）新入生、転入生を迎える会
4月19日　（高）新入生、転入生を迎える会
5月8日　火災避難訓練
5月10日　児童生徒総会
5月20日　Ⅰ課程 中間考査（24日迄）
5月22日　PTA総会
6月10日　（高）前期校内・現場実習（21日迄）
6月12日　（小）古蔵小との交流
6月17日　Ⅰ課程 期末考査（21日迄）
7月4日　（高１年）校外学習：平和学習（平和祈念公園）
7月5日　（小）交通安全教室
7月11日　（中２年）宿泊学習：EMウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート(12日迄)
7月17日　（高２年）校外学習：平和学習（海軍壕公園）
7月18日　（高３年）校外学習：平和学習（ひめゆり平和祈念資料館）
7月22日　（高：Ⅰ課程2・3学年）インターンシップ（26日迄）
7月29日　PTA福祉サービス事業所説明会

9月10日　（高）豊見城高校との交流
9月13日　地震・津波避難訓練
10月　第61回読書感想文感想画特別支援学校支部コンクール
感想文　【優秀賞】１名（小）【優良賞】１名（小）
感想画　【優良賞】６名（小・中）
10月3日　（小５年）宿泊学習：おきなわワールド、ユインチホテル南城（４日迄）
10月7日　（高）後期校内・現場実習（18日迄）
10月15日　Ⅰ課程 中間考査（21日迄）
10月16日　（中）修学旅行（2泊3日）大阪城、姫路セントラルパーク
10月24日　（小）修学旅行（1泊2日）沖縄こどもの国、チームラボ沖縄、ほしぞら公民館
10月29日　（高）小禄高校との交流
11 月　第72回全琉小･中･高校 図画･作文･書道コンクール（図画）
【最優秀賞】１名（高）【優秀賞】３名（高）【優良賞】１名（小）
沖縄県立博物館・美術館アートコンクール（高）
【最優秀賞】１名　【優秀賞】２名　【優良賞】３名
11月8日　令和６年度第１回特別支援学校技能検定
【メンテナンス部門　テーブルふき】１級　５名
【メンテナンス部門　モップ】１級　２名
【接客部門　喫茶サービス】１級　５名
【パソコン操作部門　ワード文字入力】２級　１名
11月15日　第1回　第28回高校生美らさんフェア（産業教育フェア）展示・販売（16日迄）
11月20日　（高）修学旅行（2泊3日）東京、千葉
浅草寺・東京ディズニーランド、フジテレビ等（22日迄）
11月25日　Ⅰ課程 期末考査
11月29日　第36回沖縄県特別支援学校体育大会（タピック県総ひやごんスタジアム）
【高等部】
代表女子100ｍ　1位　　代表混成400ｍＲ　3位　　代表男子400ｍＲ　２位
【中学部】
代表混成400ｍＲ　2位　　オープン400ｍＲ　2位
12月3日　火災避難訓練
12月6日　芸術鑑賞会（瑞宝太鼓）
12月13日　（中高）第1回校内持久走大会
12月20日　（中）開邦高校との交流
1月　第62回沖縄教育版画コンクール【特選】1名（中）【優秀賞】２名（中）
1月18日　令和7年度大学入学共通テスト（19日迄）
1月20日　第２回みらい祭（小2･3･5年：1月22日、小1･4･6年：1月23日、中：1月20日、高1年：1月21日、　高2･3年：1月24日）
テーマ「きりひらけ！みらいのとびら！ さあ！はじまるよ！ みんなが主役のみらい祭！～さらに向こうへ　プルス・ウルトラ～」
1月23日　令和６年度第２回特別支援学校技能検定
【メンテナンス部門　テーブルふき】1級　６名
【接客部門　喫茶サービス】1級　１名
【パソコン操作部門　エクセル数字入力】1級　４名
1月27日　Ⅰ課程 学年末考査
2月2日　第33回沖縄県特別支援学校駅伝競走大会（県総合運動公園サブグランド）
【高等部】Bパート１位　　区間賞　[2区　1位、3区　1位、4区　1位、5区　3位]
【中学部】総合４位　　区間賞　[2区１位]
2月28日　(高)3年生を送る会

3月3日　(小)卒業生を祝う会
3月4日　県立学校入学者選抜学力検査（5日迄）
3月7日　(中)卒業生を送る会
3月11日　第３回高等部卒業式・祝賀会(式終了後)
3月14日　第３回小・中学部卒業式
3月18日　高等部合格発表

令和７年度

4月1日　教頭：豊見本　公彦　他　59名発令
4月7日　始業式　小学部：99名、中学部：38名、高等部：69名　計206名
4月8日　入学式　小学部1年：24名、中学部1年：21名、高等部1年：33名　計78名
給食スタート（小１除く、児童生徒）
4月16日　（中）新入生・転入生を迎える会
4月21日　全児童生徒・保護者面談（24日迄）
4月24日　小1スクールバス下校・給食開始
4月25日　（小）新入生・転入生を迎える会
5月1日　（高）新入生・転入生を迎える会
5月9日　児童生徒総会
5月12日　（高）自力通学指導（23日迄）
5月19日　（高）Ｉ課程 中間考査（23日迄）
5月20日　火災避難訓練
5月21日　PTA総会
5月28日・29日　心電図検査
5月29日　プール安全祈願
6月2日　（中）Ｉ課程 中間考査（6日迄）
6月5日　全体研修会「自立活動の実践」
6月9日　（高）前期校内・現場実習（20日迄）
6月12日　（小）古蔵小学校との交流会
6月13日　（小）那覇高校との交流学習
（小）緊急時シミュレーション
6月16日　（高）Ｉ課程 期末考査（20日迄）
6月17日　（中）緊急時シミュレーション
6月18日　（中）平和学習集会
6月19日　授業参観日（高等部販売会）
6月24日　拡大教科会
6月26日　（中）古蔵中学校との交流会
7月4日　（高１年）校外学習：平和学習（平和祈念公園）
（高２年）校外学習：平和学習（南風原文化センター）
7月7日　（中）Ｉ課程 期末考査（11日迄）
7月8日　全児童生徒・保護者面談（11日迄）
7月9日　第1回学校評議員会
7月15日　（小）交通安全教室
7月17日　（高３年）校外学習：平和学習（ひめゆり平和祈念資料館）
7月18日　１学期終業式
7月22日　（高：Ｉ課程2・3学年）インターンシップ（26日迄）
PTA進路合同事業所説明会
7月23日　不審者侵入対策訓練

全体研修会「食物アレルギーについて」
（小６年）Ｉ課程 職場見学

8月2日　「みらいP☆スポ」（PTA）
8月18日　PTAみらいサマーフェスタ2024
8月22日　第31回特別支援学校中学部総合文化祭（県総合福祉センター　25日迄）
8月26日　（小・中）緊急時シミュレーション
9月1日　２学期始業式
9月3日　（高）南風原高校との交流会（郷土文化コース）
（高）緊急時シミュレーション
9月8日　全体研修会「障害の重い子どものための各教科の授業づくり」
（高）後期自力中学指導（22日迄）
9月9日　地震・津波避難訓練
9月10日　（高）豊見城高校との交流会
（中）校内実習（12日迄）
9月11日・12日　授業参観日（分散実施）
9月18日　（小）泊高校との交流学習
9月30日　全体研修会（授業者支援会議）
10月2日　（小５年）宿泊学習（1泊2日）イーアス沖縄豊崎（DMMかりゆし水族館）、
沖縄サンプラザホテル、おきなわワールド
10月6日　（高）後期校内・現場実習（17日迄）
10月10日　授業参観日（学校給食試食会）
10月14日　（高）Ｉ課程 中間考査（17日迄）
10月15日　（中３年）修学旅行（2泊3日）大阪市科学館、姫路セントラルパーク
10月22日　（高）小禄高校との交流会
10月23日　（小６年）修学旅行（1泊2日）沖縄ライカム、EMウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート、釣って見つける冒険の国
10月30日　第31回那覇地区中学校文化祭(なはーと)
令和7年度第１回特別支援学校技能検定
【メンテナンス部門　テーブルふき】１級　（高３）３名　（高２）６名
【メンテナンス部門　モップ】１級　（高3）１名、（高2）２名
【接客部門　喫茶サービス】１級　（高2）２名
【パソコン操作部門　ワード文字入力】１級　（高1）２名
11月　第73回全琉小･中･高校 図画･作文･書道コンクール（図画）
【最優秀賞】（高3）１名
【優秀賞】　（高3）１名、（高1）１名
【優良賞】　（高3）２名、（高2）2名、（高1）4名、
（中3）１名、（中2）1名、（中1）1名、（小3）2名
沖縄県立博物館・美術館アートコンクール
【最優秀賞】（高1）1名
【優秀賞】　（高2）1名
実用数学技能検定
【10級】1名（中2）
11月5日　第2回体育祭（中学部11月5日、小学部11月6日、高等部11月7日）
11月14日　第29回高校生美らさんフェア（産業教育フェア）展示・販売（15日迄）

11月19日　第37回沖縄県特別支援学校体育大会（タピック県総ひやごんスタジアム）
【中学部】
代表混成400ｍR　1位
オープン400ｍR　1位
【高等部】
代表男子100ｍ　3位　（高３）１名
代表混成400ｍR　2位
オープン400ｍR　1位
11月20日　（小）古蔵小学校との交流会
11月25日　（小）那覇商業高校との交流学習
11月26日　（高）修学旅行（2泊3日）東京、千葉
皇居前広場・東京ディズニーランド、フジテレビ等
（中）Ｉ課程 期末考査（12月5日迄）
12月　障害者週間ポスターコンクール　【優秀賞】　（小6）１名
12月2日　全児童生徒・保護者面談（５日迄）
12月3日　火災避難訓練
12月6日　第31回沖縄県中学校総合文化祭（アイム・ユニバースてだこホール）
12月16日　（高）首里高校との交流会
12月17日　第２回学校評議員会
12月23日　開邦高校との共同学習（美術）
12月25日　2学期終業式
1月　第63回沖縄教育版画コンクール
【特選】（高1）１名【優秀賞】（高3）１名、（高２）１名、（高１）１名
1月6日　3学期始業式
1月19日　授業参観日（小５，6年　中、高　PTA進路学習会）
学校給食週間（23日迄）
1月20日　授業参観日（小１～4年）
1月22日　令和７年度第２回特別支援学校技能検定
【メンテナンス部門　テーブルふき】1級　（高1）5名
【メンテナンス部門　ダストクロス】1級　（高2）5名
【メンテナンス部門　モップ】　1級　（高1）4名
【接客部門　喫茶サービス】1級　（高3）１名、（高1）１名
【パソコン操作部門　エクセル数字入力】1級　（高３）３名、（高２）７名、
（高１）３名
1月26日　（高）Ｉ課程 学年末考査
1月29日　（高）1年職業班販売会
1月30日　（高）２、３年職業班販売会
2月6日　第34回沖縄県特別支援学校駅伝競走大会（県総合運動公園サブグランド）
【中学部】総合４位
区間賞[　４区２位　（中3）　]
【高等部】　Bパート１位
区間賞［1区３位　（高3）,3区２位　（高2）,4区３位　（高2）,6区１位　（高3）］
2月12日　（中）生徒会役員選挙
2月13日　（小）児童会役員選挙
（高）生徒会役員選挙
2月16日　全児童生徒・保護者面談（19日迄）
2月18日　第３回学校評議員会
2月27日　（高）3年生を送る会

3月2日	（小）卒業生を祝う会
3月4日・5日	県立学校入学者選抜学力検査
3月6日	（中）卒業生を送る会
3月12日	第４回高等部卒業式・祝賀会(式終了後)
3月17日	高等部合格発表
3月18日	第４回小・中学部卒業式
3月19日	修了式・離任式

3 歴代管理職及びPTA会長一覧

	校長	教頭	事務長	PTA会長	PTA副会長
令和3年度 (10月～)	新垣 ゆかり	津波佳和	大城 真紀子		
令和4年度	新垣 ゆかり	津波 佳和 友寄 英一郎	大城 真紀子	伊禮 美和子	吉門 美香 永石 浩一
令和5年度	新垣 ゆかり	友寄 英一郎 知念 元喜	大城 真紀子	永石 浩一	吉門 美香 平安山 初美 町田 理香 山城 都
令和6年度	粟國 静夫	知念 元喜 今村 清輝	徳本 ゆかり	永石 浩一	吉門 美香 平安山 初美 町田 理香 山城 都
令和7年度	粟國 静夫	今村 清輝 豊見本 公彦	徳本 ゆかり	平安山 初美	大西 愛 山城 智郁 坂本 涼子 永石 浩一
令和8年度	粟國 静夫	前川 考治 中村 元	國吉 忍	平安山 初美	大西 愛 山城 智郁 坂本 涼子 永石 浩一

令和８年度　那覇みらい支援学校グランドデザイン「毎日の学びは、みらいにつながる」

児童生徒の健康と安全安心を最優先した教育環境を整備し、障害の状態や発達段階等の的確な把握に努め、わかる・できる喜び、学ぶ楽しさにつなげる指導の充実を目指す

〈本校の教育目標〉：　児童生徒一人一人の人権を尊重し、個々の障害の状態と心身の発達段階に応じた教育を行うとともに、豊かな人間性や社会性を育み、健やかで自立し、社会に参加・貢献できる児童生徒を育成する。
〈校訓〉:「おもい」は「みらい」を「ひらく」

〈目指す学校像〉＝つながりを大切にする学校
①児童生徒の人権を尊重し、一人一人の障害の状態に応じた教育を行い、児童生徒の学びを生きる力につなげる学校
②自分を大切にし、関わる人とのつながりをとおして、社会に参加・貢献できる児童生徒の育成を目指す学校
③ほほえみを穏やかな心につなげ、落ち着いて物事に取り組むことができる児童生徒の育成を目指す学校
④学ぶ児童生徒や保護者、勤務する職員がつながり、「よかった」と実感できる学校
⑤家庭や地域の学校、地域社会、関係機関とつながり、関わり支え合う学校

経営理念：沖縄県教育委員会の教育目標及び教育施策等を基盤として一人一人の障害の状態に応じた専門的な教育を行うことにより、生きる力を育て、自立し、**積極的に社会に参加・貢献**し、生涯にわたり、心豊かに生きていく人材の育成を目指す教育実践に努める。

今年度の目標：①全児童生徒が安全と安心を確保した場所としての教育環境整備　②児童生徒一人一人の人権の尊重　③学校施設、地域資源を生かし、個々の障害の状態と心身の発達段階に応じた教育の保障（障害の状態に応じた小中高つながりのある教育課程の編成）　④教育活動を地域とつながりながら拡大　⑤できるところから、みんなで働き方改革の推進

【今年度の取組と重点】「毎日の学びはみらいにつながる」：児童生徒の健康と安全安心を最優先した教育環境を整備し、障害の状態や発達段階等の的確な把握に努め、わかる・できる喜び、学ぶ楽しさにつなげる指導の充実を目指す

(1)　学　習　指　導

①児童生徒の実態を適切に把握
②学習指導要領の教科等の内容を踏まえ、個別の指導計画を作成し、児童生徒のそれぞれの段階に応じて「何を学ばせるか」「何ができるようになるか」「育成を目指す資質・能力」を明確にした上で授業を実施（知的障害については、★本を活用した授業実践）
③障害の学習上または生活上の困難を克服するためや自らの得意なところを伸ばすための知識や技能の習得に向けての自立活動の指導の充実（専門性向上研修・免許法認定講習・医ケア第３号研修）
④あらゆる場合にＩＣＴ機器の積極的な活用

(2)　生活指導・キャリア教育（進路指導を含む）

①基本的生活習慣の確立と日常の行動に留意し、些細な変化に気づくことができる生徒指導の実践
②生活学習室を活用した将来の自立し社会参加、貢献のための学びの充実
③保護者や地域と連携した児童生徒の将来を見据えたキャリア教育の推進
④地域支援体制の連携構築によるインターンシップ等の実施により卒業生の進路希望の実現
⑤地域（企業・関係機関含む）とつながる機会の設定（学校開放日、学校カフェの開催、公園清掃等）
⑥日常的な人権に配慮した取組（呼称や自己理解）等やいじめの早期発見・早期対応の徹底
⑦スクールバスの乗車指導及び自力通学の連携支援体制の構築による推進

(3)特別活動・その他（安全・安心、健康づくり、地域支援等）

①特別活動を要としたキャリア教育の推進（日頃の各教科等の学びをキャリア形成につなげる学級活動や学校行事の実施）
②18 歳成年を踏まえた関係機関と連携した主権者教育・消費者教育の実施
③学校施設（図書館、特別教室、多目的教室等）を活用した学級活動・学年活動・ホームルーム活動の充実
④全児童生徒、全職員が学校施設を理解し、安全確認を行いながら安心して施設を活用できるように安全指導を徹底。
⑤学校全体の医療的ケアの体制整備（校内体制の構築及び関係機関と連携し対象児童生徒を想定した緊急時シミュレーションの実施）
⑥地域や保護者と連携した防災体制の構築及び理解推進（ハザードマップ作成と避難経路等の情報共有、訓練の実施）
⑦インクルーシブ教育システムの構築に向けて、特別支援学校のセンター的機能の発揮（地域の小中高等学校等との連携支援体制の構築・交流及び共同学習の推進）
⑧ホームページによる情報の発信（学校の状況・支援に関する情報等）

(4)　学　校　運　営

①子供たちや自分を守る「服務」の理解推進（服務規律の理解徹底）
②教育支援システム活用や Web 会議システム、可能な限り会議を縮減し、働き方改革を推進
③学校評価を活用したカリキュラムマネジメント（以下カリマネ）
④管理、事務、各部と情報共有を行い、カリマネの視点を共有（時宜を得た予算編成と予算の執行）

(5)　職員専門性の向上

①授業改善（授業者支援システムの構築：授業→評価　指導の一体化）
②校内研修の充実
③障害種に関する専門性向上研修

那覇みらい支援学校の目指す教育

沖縄県の教育目標

自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ幼児児童生徒を育成する。
平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展 に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な県民を育成する。
学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもとに、時代の変化に 対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会の実現を図る。 幅広い教養と専門的能力を培うとともに、高い公共性・倫理性を保持しつつ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材を育成する。

学校教育のおける指導の努力点

○確かな学力の育成
○豊かな心の育成
○健やかな体の育成

経営理念：沖縄県教育委員会の教育目標及び教育施策等を基盤として一人一人の障害の状態に応じた専門的な教育を行うことにより、生きる力を育て、自立し、**積極的に社会に参加・貢献**し、生涯にわたり、心豊かに生きていく人材の育成を目指す教育実践に努める。

〈本校の教育目標〉
児童生徒一人一人の人権を尊重し、個々の障害の状態と心身の発達段階に応じた教育を行うとともに、豊かな人間性や社会性を育み、健やかで　自立し、社会に参加・貢献できる児童生徒を育成する。

校訓：「おもい」は「みらい」を「ひらく」
「おもい」：意思を示し、考え、自らを理解し、意欲をもって行動すること
「みらい」：「今日よりも明日」や卒業後も含めた将来
「ひらく」：切り拓く、扉を開く、理解を啓く

〈目指す児童生徒像〉
①心や身体が健やかな人
②進んで何事にも取り組む人
③おもいを伝えられる人
④自らを理解し、他者を大切にする人
⑤持てる力（自分らしさ）を発揮し、自立し社会に参加・貢献する人

〈目指す学校像〉＝つながりを大切にする学校
①児童生徒の人権を尊重し、一人一人の障害の状態に応じた教育を行い、児童生徒の学びを生きる力につなげる学校
②自分を大切にし、関わる人とのつながりをとおして、社会に参加・貢献できる児童生徒の育成を目指す学校
③ほほえみを穏やかな心につなげ、落ち着いて物事に取り組むことができる児童生徒の育成を目指す学校
④学ぶ児童生徒や保護者、勤務する職員がつながり、「よかった」と実感できる学校

〈キャリア教育の目標〉　～児童生徒の Well being の 実現に向けて～
①自身の障害の状態に応じ、自立と社会参加・貢献を見据え、卒業後の生活を視野に入れ、自らの生き方を主体的に考え、自己実現を果たしていこうとする能力や態度を育成する。
②学校教育を通じて身につけた知識及び技能を活用し、持てる能力を最大限伸ばすことができるよう生涯学習への意欲を高める。

〈目指す教職員像〉：**教学相長**（きょうがくあいちょうず）礼記
児童生徒一人一人の人権を大切にし、それぞれの児童生徒に応じた**「自立し、社会に参加・貢献する」**という目標達成に向けて、「児童生徒に教えることから常に学び続ける」ことができる教職員
①児童生徒一人一人の視点に立ち、「良さ」の伸長に努める教職員
②日々の教育活動に真摯に取り組み、実践の客観的な振り返りと改善・充実に努める教職員
③特別支援教育の専門家として学び続ける教職員
④教育公務員として自覚し、責任を持つ教職員
⑤学校運営に対して広い視野に立ち、主体的に参画する教職員
⑥保護者の思いや願いを共感的に理解するとともに、協働して児童生徒の「みらい」を考える教職員

5 教育課程の編成の基本方針

○ 教育基本法、学校教育法、他関係法令及び学習指導要領及び、それに基づき作成された本県の学校教育における指導の努力点等を踏まえ、児童生徒一人一人の生きる力を育む教育課程を編成する。
○ 本校の教育目標及び各部の目標達成に向けて、児童生徒の教育的ニーズに応じた教育課程を編成する。
○ 保護者の願いや地域社会の特性を生かした社会に開かれた教育課程を編成する。

⑴ 適切な実態把握と「個別の指導計画」および「年間指導計画」の作成
① 児童生徒一人一人の障害の状態や特性及び発達段階を踏まえる。
② 児童生徒の学習状況等、「学びの履歴」を把握(指導内容確認表等の活用)して、根拠のある「個別の指導計画」及び「年間指導計画」を作成し、育成を目指す資質・能力を考慮した指導内容(題材・単元)を整理して系統的な教科指導の充実を図る。
③ 「個別の指導計画」は教育課程と授業をつなぐ役割であることを踏まえ、教育内容ごとに指導目標を定め、実施し、評価を行う。
④ ☆本を活用した児童生徒個々の段階に応じた指導内容の選定。

⑵ 学びの履歴を踏まえ卒業後においてもつながりのある教育課程
① 本校は、「連続性のある多様な学びの場」の一つであることを理解し、学びの履歴を引き継ぎ、小中学校等との円滑な接続ができるようにする。
② 校内においても「学びの連続性」を意図した小学部・中学部・高等部一貫した教育課程を編成し、学びの連続性を担保する。
③ 障害者の主体的な学びを重視し、個性や得意分野を生かした自立と社会参加・貢献の実現に向け、学校教育段階から卒業後を見通した教育を推進し、生涯学習への意欲と生涯を通じてスポーツや文化芸術活動に親しみ、豊かな生活を営むことができるよう配慮した編成を行う。

⑶ 各教科等の指導を含む学校教育活動全体を通して 3 つの資質能力(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性」)を育成する。
① 小中学校等に準ずる教育課程で学習する場合
自立活動の時間の確保により、小中学校等の各教科等の標準時数より減ずることになるため、授業段階において「指導内容の精選」の配慮を行い、学びの保障に努める。
② 知的障害者である児童生徒の教育を行う特別支援学校の教育課程で学習する場合
知的障害のある児童生徒の教育的対応の基本(学習指導要領解説:各教科等編 P27)を踏まえ、各教科等の内容の指導を行う場合、一人一人の教育的ニーズに応じた教育目標及び指導内容を設定し、指導の工夫(授業形態や学習集団構成等)を図る。

⑷ 自立活動の指導
① 自立活動の指導はその目的を踏まえ、自立活動の時間はもとより、教育活動全体を通じて行うよう編成する。指導計画の作成に当たっては児童生徒個々の障害の状態や発達段階等の実態把握から指導すべき課題同士を整理し、具体的な指導目標及び指導内容を設定する(流れ図を活用した「個別の指導計画」の作成)。
② 児童生徒自身が活動しやすいように環境や状況に対する判断や調整する力を育むため、個々の児童生徒に対し、自己選択及び自己決定する機会を設けることによって思考したり、判断したりすることができるような指導内容を取り上げること。
③ 児童生徒自らが将来の自立や社会参加・貢献に必要な、資質・能力を身に着けることにつながる学習であることを理解して取り組めるような指導内容を取り上げ、実態に応じて児童生徒自らの参画を図ること。

⑸ 特別の教科 道徳科等の指導(参考資料 特別の教科 道徳等での留意事項)
① 道徳教育の全体計画を作成し、校長の方針の下に道徳教育推進教師を中心に全教師が協力して道徳教育を展開する。
② 道徳教育の全体計画に基づき、各教科等との関連を考慮、明らかにしながら, 道徳科の年間指導計画を

作成し、指導を行う。

⑹ キャリア教育の充実

① 児童生徒一人一人の障害の状態に応じ、これまで特別支援学校で取り組んできた教育活動を礎に、自立と社会参加・貢献を見据え、卒業後の生活を視野に入れ、自らの生き方を主体的に考え、自己実現を果たしていこうとする能力や態度を育成することをめざす。

② 特別活動が学校教育全体で行う各教科等をつなぐキャリア教育の要として、児童生徒のキャリア発達を促し、キャリア教育の充実を図る。特に学級活動「⑶一人一人のキャリア形成と自己実現」を踏まえ、学級活動・ホームルーム活動、学校行事の中でキャリア教育の充実が図れるようにする。

③ 学ぶことと将来のつながりを意識しながら自立と社会参加・貢献に向けて、それぞれのキャリア発達の段階で必要な資質・能力を身に付けていくことができるよう、小・中・高等部一貫したキャリア教育に取り組める教育課程を編成する(キャリアパスポートの活用等)。

⑺ 学校教育全体を通した人権教育の充実

① 人権教育が、「個人の尊厳」を守り、発展させる「人権尊重の精神の涵養」を育む教育であることを理解して職員自ら取り組むとともに、児童生徒にも学校教育活動全体を通して指導できるようにする。

② 人権尊重の視点に立った学校経営のもと生徒指導を実践し、自分の良さや可能性を認識できるようにすることや、あらゆる他者を価値ある存在として多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする。

③ 普段の授業の中でも人権を意識し人権教育を進めていくこと。

⑻ 健康教育の実践(保健・安全・食に関する教育等)と充実

健やかな心と身体の育成を目指し、主体的に取り組めるよう各教科等横断的視点のもと学校教育活動全体で取り組む。

⑼ 授業時数等について

小中高等学校の標準時数を踏まえ、適切に時数を配当する。特別支援学校においては、自立活動の領域が設定されていることや障害があるために学習の習得に要する時間の確保がより必要であり、学習保障の観点から、授業時数の確保に努める。

① 年間 35 週 (小 1 は 34 週)以上にわたって教育課程を編成する。

② 授業 1 単位時間は、小学部 45 分、中学部・高等部は 50 分とする。

6 教育課題に対する指導の重点

(1) 交流及び共同学習の重点

① 家庭や地域社会との連携を深め、学校教育活動においては、交流及び共同学習を地域の小中高校等と実施するとともに、居住地校交流なども可能な限り推進する。

② 地域社会との交流を視野に入れた学校教育活動の展開や地域の自治会や公民館とも連携し、児童生徒の生活の充実と活性化を図る。

(2) 生徒指導の重点

生徒指導は、児童生徒が社会の中で自分らしく生きることができる存在へと自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動であることを踏まえ、児童生徒一人一人が自己指導能力を身に付けることができるよう支援する。また、教職員は児童の権利に関する条約やこども基本法の基本趣旨等の理解を深めながら取り組む。

支援する際の実践上の視点としては、

① 自己存在感の感受

② 共感的な人間関係の育成

③　自己決定の場の感受

④　安全・安心な風土の醸成を基盤の 4 つに留意して学級、学部、校内で共通理解しながら必要がある場合は他機関との連携が行える支援体制を構築する

(3) キャリア教育の重点

児童生徒が、自身の障害の状態に応じ、自立と社会参加・貢献を見据え、卒業後の生活を視野に入れ、自らの生き方を主体的に考え、自己実現を果たしていこうとする能力や態度を育成する。

①　児童生徒一人一人が社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現できるようキャリア教育の充実を図る。

②　学ぶことと将来のつながりを意識しながら、自立と社会参加・貢献に向けたそれぞれの段階で必要な資質・能力である「基礎的・汎用的能力」（かかわる力、ふり返る力、やりぬく力、みとおす力）を身に付けていくことができるよう、小・中・高等部において特別活動を要としつつ教科等横断的な視点で連携・協働し、学校教育全体でキャリア教育に取り組む。

(4) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

児童生徒が、学校教育を通じて身につけた知識及び技能を活用し、持てる能力を最大限伸ばすことができるよう生涯学習への意欲を高める。

①　各教科等の学びの中で生涯学習につながる、人との関わり、身体を動かす、芸術等に親しむなど、経験の拡大を図る。

②　スポーツや文化芸術活動等に親しみ、体験する機会を設け、生涯学習につながる経験の拡大を図る。

(5) ICT機器利活用の重点

GIGAスクール構想の主旨に則り、情報セキュリティの確保に努め、ICT機器の利活用が行えるよう体制を整える。

①　障害のある児童生徒の情報活用能力の育成や教科等の指導の効果を高めることを目的として活用する。特に児童生徒の情報活用能力の育成においては、機器の取扱いだけではなく、プログラミング的思考や、情報モラル等の指導についても合わせて指導を行う。

②　障害による学習上または生活上の困難さを改善・克服するために積極的に活用する。

(6) 安全に関する指導の重点

学校における適切な安全管理と安全教育の充実を図り、安全・安心な組織体制に努め、児童生徒が自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成する。

避難訓練や防災訓練等だけではなく教育活動全体を通して、防犯・防災・交通安全・河川海浜等における事故防止等の教育の実施し、児童生徒の安全についての理解が深まるようにする。

那覇みらい支援学校「各学部の目標」

	小学部	中学部	高等部
	児童一人一人の個々の障害の状態や発達段階に応じた学習目標を設定し、基本的生活習慣の形成や主体的に教師や友だちと関わる中で意欲的に学習に取り組もうとする児童を育成する。	生徒一人一人の個々の障害の状態や発達段階に応じた学習目標を設定し、基本的生活習慣の確立や主体的に人や環境とかかわり、社会生活を広げ、意欲的に学習に取り組もうとする生徒を育成する。	卒業後の自立や社会参加・貢献を見据え、生徒一人一人が自分自身を理解し、主体的に人や環境と関わり、学習活動に取り組もうとする生徒を育成する。
○心や身体が健やかな人	①健康な心と体をつくり、基本的生活習慣を整えようとする児童を育てる。	①健康な心と体をつくり、自ら健康で安全な生活をつくろうとする生徒を育てる。（生活習慣の確立、豊かな人間性）	①心身ともに健康で、心豊かに自らの健康で安全な生活を整えようとする生徒を育てる。（生活習慣の確立、豊かな人間性）
○進んで何事にも取り組む人	②自らの興味や関心を広げ、学習に取り組もうとする児童を育てる。	②様々な活動に意欲的に取り組もうとする生徒を育てる。（主体性）	②何事にも意欲的に挑戦し、主体的に活動しようとする生徒を育てる。（主体性）
○おもいを伝えられる人	③やりたいことを選択し、自分の思いを伝えようとする児童を育てる。（意思伝達、自己選択）	③自分のおもいや考えを他者に伝えようとする生徒を育てる。（自己選択、自立）	③自ら選択し、自分のおもいや考えを伝えようとする生徒を育てる。（自己選択、決定）
○自らを理解し、他者を大切にする人	④友だちと一緒に活動する中で、自らを表現したり、自分と他児のことに気づいたりしようとする児童を育てる。（自己・他者理解）	④自分のこと（好きなこと、得意なこと、性格等）を理解することができ、他者の存在を認めようとする生徒。（自己･他者理解）	④人との関わりの中で自分と他者の良さや違いを認め、お互いを尊重し、協働しようとする生徒を育てる。（自己理解、他者理解、協働）
○持てる力（自分らしさ）を発揮し、自立し社会に参加・貢献する人	⑤自分でできることを増やし、持てる力で様々な活動に参加しようとする児童を育てる。	④自分ができることや持てる力で任されたことを粘り強く最後まで取り組もうとする生徒を育てる。（社会参加、協働）	⑤社会生活に必要な力を養い、自分の持てる力を活かし、主体的に進路選択しようとする生徒を育てる。（自立、社会参加・貢献）

7　小学部

（1） 小学部の教育目標

児童一人一人の発達段階に合わせた学習目標を設定し、基本的生活習慣の確立を図り、主体的に教師や友だちと関わったり、意欲的に学習に取り組んだりする児童を育成する。

①心や身体が健やかな人（健やかな子）
健康な体づくりに取り組む児童を育てる。
②進んで何事にも取り組む人（進んで取り組む子）
意欲的に学習に取り組む児童を育てる。
③おもいを伝えられる人（気持ちを伝える子）
やりたいことを選択し、自分の思いを伝えることができる児童を育てる。
④自らを理解し、他者を大切にする人（仲良くする子）
友だちと仲良く活動できる児童を育てる。
⑤持てる力(自分らしさ)を発揮し、自立し社会に参加・貢献する人（自分らしく挑戦する子）
自分でできることを増やし、持てる力を使って様々な活動に参加できる児童を育てる。

（2） 教育課程の編成方針〈教育課程一覧〉

Ⅰ課程	・ 小学校の当該学年に準じた教育活動に自立活動を加え編成する。 ・ 障害の状態により当該学年の学習が困難な児童は下学年代替とする。 ・ 当該学部終了までに当該学部の全教科の内容が修了できるよう編成する。
Ⅱ課程A	・ 『教科別（生・国・算・音・図・体）の指導』及び、外国語活動、特別の教科道徳、特別活動、自立活動の指導を適切に配当して編成する。 ・ 『各教科等を合わせた指導』として生活単元学習を行い、各教科等での学びの定着・統合に向けた学習を行う。
Ⅱ課程B	・ 『教科別（生・国・算・音・図・体）の指導』及び、外国語活動、特別の教科道徳、特別活動、自立活動の指導を適切に配当して編成する。 ・ 『各教科等を合わせた指導』として生活単元学習を行い、各教科等での学びを生かして生活に根ざした体験的な学習に取り組み、学んだことの定着・統合を行う。 ・ 『各教科等を合わせた指導』としてみらいタイムを行い、各教科等での学びの定着・統合や学校生活及び卒業後のキャリア形成に向けた、豊かな生活を送るためのスキルを獲得するための学習を行う。
訪問学級 Ⅰ課程	・ 小学校の当該学年に準じた教育活動に自立活動を加え編成する。 ・ 障害の状態により当該学年の学習が困難な児童は下学年代替とする。 ・ 児童の実態・発達段階に応じて履修内容を考慮する

訪問学級 Ⅱ課程	・『教科別（生・国・算・音・図・体）の指導』及び、外国語活動、特別の教科道徳、特別活動、自立活動の指導を適切に配当して編成する。 ・『各教科等を合わせた指導』として生活単元学習を行い、各教科等での学びを生かして生活に根ざした体験的な学習に取り組み、学んだことの定着・統合を行う。 ・『各教科等を合わせた指導』としてみらいタイムを行い、各教科等での学びの定着・統合や学校生活および卒業後のキャリア形成に向けた、豊かな生活を送るためのスキルを獲得するための学習を行う。 ・児童の実態・発達段階に応じて履修内容を考慮する。

（3） 各教科等の指導の重点

【Ⅰ課程（下学年代替の場合を含む）】

プログラミング教育について

各教科の指導を通してプログラミング体験を位置づけ、下記の三つの事項を意図して論理的思考力を育み、将来コンピュータを理解し活用することができるようにする。

・プログラミング的思考の育成。

・プログラムや情報社会の仕組みに気づかせ、活用する態度を育む。

・プログラミングを使うことで教科等での学びをより確実にする。

① 各教科 〔(知)：知識及び技能、(思)：思考力，判断力，表現力等、(学)：学びに向かう力・人間性等〕

ア 国語

(知) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。

(思) 日常生活における様々な人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

(学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその基礎的・基本的な能力の向上を図る態度を養う。

イ 社会

(知) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を自分にできる方法で調べ、まとめる技能を身につけるようにする。

(思) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを自分にできる方法で表現する力を養う。

(学) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

ウ 算数

(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに自分に合った方法

で日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
（思）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
（学）数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

エ　理科
（知）自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な知識や簡単な技能を身につけるようにする。
（思）観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
（学）動植物を育て、観察し、やさしさを育もうとする態度を養う。

オ　生活
（知）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
（思）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。
（学）自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会及び自然に自ら働きかけて意欲や自信を持って学んだりし、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

カ　音楽
（知）曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするための簡単な技能を身に付けるようにする。
（思）音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
（学）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

キ　図画工作
（知）形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができるようにする。
（思）造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方について考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げ、他者に伝えることができるようにする。
（学）つくりだす喜びを味わうとともに感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

ク　家庭
（知）家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる簡単な技能を身に付けるようにする。

（思）日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。

（学）家庭生活を大切にする心情を育み、家庭や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

ケ　体育

（知）その特性に応じた各種の運動の仕方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、身体の特性や状態に応じて基本的な動きや技能を身につけるようにする。

（思）運動や健康についての自己の課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

（学）運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

コ　外国語

（知）外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

（思）コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを自分にできる方法で伝え合うことができる基礎的な力を養う。

（学）外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

②　特別の教科 道徳

【（自分）主として自分自身に関すること　（人）主として人との関わりに関すること
（集団・社会）主として集団や社会との関わりに関すること　（生命）主として生命や自然、崇高なもとの関わりに関すること】

（自分）自分の特徴を知り、短所を改め長所を伸ばすと共に、自分のことは自分でやり、目標を持って努力しようとする態度を養う。

（人）思いやりの心をもち、自分の考えや意見を相手に伝えると共に、友だちと互いに信頼し助け合おうとする態度を養う。

（集団・社会）約束やきまりの意義を理解し、働くことのよさがわかり、進んで行動しようとする態度を養う。

（生命・自然）自然の素晴らしさを感じ、生命あるものを大切にしようとする心を育てる。

③　外国語活動

（知）外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。

（思）身近で簡単な事柄について、外国語を聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

（学）外国語を通して、言語やその背景にある文化に触れ、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて

コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

④　総合的な学習の時間

（知）探求的な学習の過程において課題の解決に必要な知識及び簡単な技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習の良さを理解できるようにする。

（思）社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め整理・分析して、まとめ・現することができるようにする。

（学）探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

⑤　特別活動

（知）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

（思）集団や自己の生活、人間関係の課題に気付き、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

（学）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑥　自立活動

個々の児童が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

※児童の身体の動きの状態や認知の特性、各教科の内容の習得状況等を十分考慮して指導内容を設定し、計画的・弾力的な指導を行う。

【Ⅱ課程】

①　各教科　〔(知)：知識及び技能、(思)：思考力，判断力，表現力等、(学)：学びに向かう力・人間性等〕

ア　生活

（知）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

（思）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。

（学）自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

イ　国語

（知）日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。

（思）日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。

（学）表情、身ぶり、言葉等で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を育てる。

ウ　算数

（知）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。

（思）身の回りにあるものから数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力を養う。
（学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

エ　音楽
（知）曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身につけるようにする。
（思）感じたことを表現することや、曲の演奏の楽しさを見い出しながら、音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。
（学）音や音楽に楽しく関り、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

オ　図画工作
（知）形や色などの違いに気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができるようにする。
（思）表したいことを思いついたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
（学）つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

カ　体育
（知）遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付けるようにする。
（思）遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を養う。
（学）遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

②　特別の教科 道徳
ア　自分自身の特徴を知り、良いことと悪いことの区別をし、規則正しい生活をしようとする態度を養う。
イ　身近にいる人に温かい心で接し、友だちと仲良く助け合う態度を養う。
ウ　約束やきまりを守り、進んで手伝いなどをして、楽しい学校生活を送ろうとする態度を養う。
エ　身近な自然や動物に親しみ、生命ある物を大切にする心を育てる。

③　特別活動
（知）集団活動を通して集団や社会の一員としてみんなと協力し、助けあう態度を育てる。
（思）集団活動を通してよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
（学）集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築き、自己を生かす能力を養う。

④　外国語活動
（知）外国語を用いた活動を通して、日本語と外国語の音声に慣れ親しむようにする。
（思）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝える力の素地を養う。

（学）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

⑤　自立活動

一人一人の児童が興味や関心を持って主体的に取り組めるような指導内容を設定し、できる側面を伸ばすことで障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲や態度を育てる。

（指導の形態として）

⑥　各教科等を合わせた指導

ア　生活単元学習

イ　みらいタイム（Ⅱ課程Ｂ、訪問学級Ⅱ課程Ｂ）

（4） 交流及び共同学習の重点

障害のある子供、障害のない子供、または、地域の人と触れ合い、共に活動する中で、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う態度を育む。また、共同学習においては、教科等のねらいが達成できるように留意して、計画的・組織的に近隣や居住地の小学校等と連携し、推進する。

（5） 生徒指導の重点

児童と教師との信頼関係を築き、家庭や地域と連携する中で、児童理解の深化を図り、児童の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高め、仲間と成長できるようにする。

①好ましい人間関係をつくり、一人一人が安心して楽しく生活するためのルールがあることを知り、守ろうとする態度を育む。

②一人一人の居場所をつくり、だれもが楽しくわかる授業づくりの中で学習に参加し、安全・安心感の中で、生活習慣を確立し、仲間とともに一緒に生活している意識を育む。

③自分らしさが輝く場面をつくり、一人一人の自分らしさを表現することや考え・選ぶ活動を通して、認められる機会を設け、いろいろなことに主体的に取り組もうとする態度を育てる。

（6） キャリア教育の重点

児童一人一人の障害の状態に応じ、自らの力で生き方を選択していくことができるよう、必要な能力や態度を身につけられるようにする。また、特別活動をキャリア教育の要として各教科等をつなぎ、キャリア発達の充実を図る。

［自己理解］日頃からやりたいことを考え、伝え、選ぶ機会の経験を広げる中で振り返る力を育む。

［自立、社会貢献］基本的生活習慣の確立に取り組み、自分ができることを通して、役割を果たす力を育む。

［社会参加］意思表現やあいさつなど人との関わりや集団への参加などで必要な力を育む。

［社会参加・貢献］社会の決まり、金銭の取り扱い、様々な情報への関心などを持ち、様々な経験を広げる。

（7） 生涯学習への意欲を高める指導の重点

児童が、学校教育を通じて身につけた知識及び技能を活用し、持てる能力を最大限伸ばすことができるよう生涯学習への意欲を高める。

①各教科等の学びの中で生涯学習につながる、人との関わり、身体を動かす、音楽に親しむなど、経験の拡大を図る。

②交流及び共同学習等において体験する機会を設け、スポーツや文化芸術活動に親しみ、生涯学習につながる経験の拡大を図る。

（8） ICT 機器利活用の重点

ＧＩＧＡスクール構想（教育ＩＣＴ環境の整備）により学びの個別最適化が図られることや合理的配慮の提供を適切に行うことが可能となり必要な資質・能力が、一層確実に育成できるようにする。情報収集能力の育成と教科の学習目標を達成するための手段として理解し、活用を図る。（(活）情報活用能力の育成（プ）プログラミング的思考の育成（モ）情報モラル・情報セキュリティを示す。）

また、障害の状態により特に合理的配慮がコンピュータ等で円滑に行うことができる場合は、自立活動の指導において取り組み、当該児童が理解して活用できるようにする。

【肢体不自由・病弱】

情報収集能力の育成と教科の学習目標を達成するための手段として理解し、活用を図る。特に総合的学習の時間においてプログラミング、情報セキュリティに関する指導の充実を図る。

【知的障害】

ICT 機器を安全に使用し、約束やきまりを守りながら基本的な操作を体験することで、ものを大切にする態度を育む。特に生活科や道徳科において情報を活用する力や簡単なプログラミング的思考を体験させ、情報モラルおよび安全な使い方に関する指導の充実を図る。

○コンピュータ等の基本的な使い方について体験を通して知る。

（活・プ）各教科等の指導において、その特性に応じた指導の中で、必要に応じて文字の入力（音声入力等を含む）を行い、学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作方法についての体験の充実を図る。

（モ）情報モラル・情報セキュリティについて知る。

（9） 安全教育の重点

学校における適切な安全管理と安全教育の充実を図り、安全・安心な組織及び体制の構築に努める。児童が自己及び他者の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質・能力を育成する。

①教育活動全体を通して「防犯教育・防災教育・交通安全教育・河川・海浜等における事故防止教育」に努め、児童が危険な場所や場面について理解し、教師とともに回避しようとする態度を育む。

様式２ 小学部

① 授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	196
２年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
３年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
４年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
５年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
６年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	14	196
備考													

② 訪問教育授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	9	10	12	7	0	11	12	11	11	10	10	9	112
２年	10	10	12	7	0	11	12	11	11	10	10	9	113
３年	10	10	12	7	0	11	12	11	11	10	10	9	113
４年	10	10	12	7	0	11	12	11	11	10	10	9	113
５年	10	10	12	7	0	11	12	11	11	10	10	9	113
６年	10	10	12	7	0	11	12	11	11	10	10	8	112
備考	授業日数は週３日、授業時数は週６時間を標準とする。												

様式３　　小学部　（　Ｉ　）課程

①　標準授業時数表

Ｉ課程（小学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等		１年		２年		３年		４年		５年		６年		備考
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	国語	306	9	315	9	210	6	210	6	175	5	175	5	
	社会					70	2	105	3	105	3	105	3	
	算数	136	4	175	5	140	4	140	4	175	5	175	5	
	理科					105	3	105	3	105	3	105	3	
	生活	102	3	105	3									
	音楽	68	2	70	2	70	2	70	2	35	1	35	1	
	図画工作	68	2	70	2	70	2	70	2	35	1	35	1	
	家庭									70	2	70	2	
	体育	34	1	35	1	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
	外国語									70	2	70	2	
小計		714	21	770	22	735	21	770	22	840	24	840	24	
道徳科		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
外国語活動						35	1	35	1	0		0		
総合的な学習の時間						70	2	70	2	70	2	70	2	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		68	2	70	2	70	2	70	2	35	1	35	1	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

様式３　　小学部　（訪問Ｉ）課程

①　標準授業時数表

訪問教育Ｉ課程（小学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等		１年	２年	３年	４年	５年	６年	備考
各教科	国語	34	35	35	35	35	35	
	社会			18	18	18	18	
	算数	34	35	35	35	35	35	
	理科			18	18	18	18	
	生活	34	35					
	音楽	17	18	14	14	13	13	
	図画工作	17	18	14	14	13	13	
	家庭					5	5	
	体育	8	8	5	5	5	5	保健を含む
	外国語					18	18	
小計		144	149	139	139	160	160	
道徳科		13	13	5	5	4	4	
外国語活動				18	18			
総合的な学習の時間				5	5	5	5	
特別活動		13	13	8	8	6	6	
自立活動		34	35	35	35	35	35	
合計		204	210	210	210	210	210	

様式３　　小学部（　ⅡA　）課程

②　標準授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校小学部の教育課程で編成）

教科等		1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	生活	346	10	356	10	321	9.2	321	9.2	286	8.2	286	8.2	
	国語	108	3.2	146	4.2	146	4.2	146	4.2	146	4.2	146	4.2	
	算数	74	2.2	76	2.2	76	2.2	111	3.2	111	3.2	111	3.2	
	音楽	73	2.1	76	2.2	75	2.1	75	2.1	75	2.1	75	2.1	
	図画工作	39	1.1	41	1.2	76	2.2	76	2.2	75	2.1	75	2.1	
	体育	68	2	70	2	105	3	105	3	105	3	105	3	保健を含む
計		708	21	765	22	799	23	834	24	798	23	798	23	
道徳科		20	0.6	20	0.6	38	1.1	38	1.1	38	1.1	38	1.1	
外国語活動						0		0		36	1	36	1	
特別活動		20	0.6	20	0.6	38	1.1	38	1.1	38	1.1	38	1.1	
自立活動		102	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	
計		142	4.2	145	4.1	181	5.2	181	5.2	217	6.2	217	6.2	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

様式３　　小学部（訪問ⅡA）課程

②　標準授業時数表

訪問教育Ⅱ課程（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科	生活	30	30	27	27	27	27	
	国語	27	28	27	27	27	27	
	算数	27	28	27	27	27	27	
	音楽	27	28	27	27	27	27	
	図画工作	27	28	27	27	27	27	
	体育	22	23	22	22	22	22	保健を含む
計		160	165	157	157	157	157	
道徳科		5	5	9	9	6.5	6.5	
外国語活動				0	0	5	5	
特別活動		5	5	9	9	6.5	6.5	
自立活動		34	35	35	35	35	35	
計		44	45	53	53	53	53	
合計		204	210	210	210	210	210	

様式３　　小学部（　ⅡB　）課程

②　標準授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校小学部の教育課程で編成）

教科等		１年		２年		３年		４年		５年		６年		備考
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	生活	192	5.6	195	5.6	230	6.6	230	6.6	220	6.3	220	6.3	
	国語	111	3.3	150	4.3	150	4.3	150	4.3	150	4.3	150	4.3	
	算数	77	2.3	80	2.3	80	2.3	115	3.3	115	3.3	115	3.3	
	音楽	102	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	
	図画工作	43	1.3	45	1.3	80	2.3	80	2.3	80	2.3	80	2.3	
	体育	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	保健を含む
計		559	16	610	17	680	19	715	20	705	20	705	20	
道徳科		23	0.7	25	0.7	25	0.7	25	0.7	25	0.7	25	0.7	
外国語活動						0		0		10	0.3	10	0.3	
特別活動		28	0.8	30	0.9	30	0.9	30	0.9	30	0.9	30	0.9	
自立活動		240	7.1	245	7	245	7	245	7	245	7	245	7	
計		291	8.6	300	8.6	300	8.6	300	8.6	310	8.9	310	8.9	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

様式３　　小学部（訪問ⅡB）課程

②　標準授業時数表

訪問教育Ⅱ課程（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等		１年	２年	３年	４年	５年	６年	備考
各教科	生活	41	41.5	41.5	41.5	36.5	36.5	
	国語	25	26	26	26	26	26	
	算数	25	26	26	26	26	26	
	音楽	20	21	21	21	21	21	
	図画工作	22	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	
	体育	17	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5	保健を含む
計		150	154.5	154.5	154.5	149.5	149.5	
道徳科		6	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	
外国語活動				0	0	5	5	
特別活動		7	7	7	7	7	7	
自立活動		41	42	42	42	42	42	
計		54	55.5	55.5	55.5	60.5	60.5	
合計		204	210	210	210	210	210	

様式１３　小学部〔　ⅡA　課程〕

Ⅱ課程（知的特別支援学校小学部の教育課程で編成）

①　標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】

		1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考
		総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	
各教科	生活	346	340	6	356	350	6	321	315	6	321	315	6	286	280	6	286	280	6	
	国語	108	102	6	146	140	6	146	140	6	146	140	6	146	140	6	146	140	6	
	算数	74	68	6	76	70	6	76	70	6	111	105	6	111	105	6	111	105	6	
	音楽	73	68	5	76	70	6	75	70	5	75	70	5	75	70	5	75	70	5	
	図画工作	39	34	5	41	35	6	76	70	6	76	70	6	75	70	5	75	70	5	
	体育	68	68	0	70	70	0	105	105	0	105	105	0	105	105	0	105	105	0	保健を含む
道徳科		20	10	10	20	10	10	38	35	3	38	35	3	38	35	3	38	35	3	
外国語活動								0	0	0	0	0	0	36	35	1	36	35	1	
特別活動		20	10	10	20	10	10	38	35	3	38	35	3	38	35	3	38	35	3	
自立活動		102	102	0	105	105	0	105	105	0	105	105	0	105	105	0	105	105	0	
合計	教科別の指導で行う時数		802			860			945			980			980			980		
	合わせた指導で行う時数			48			50			35			35			35			35	
	総時数	850			910			980			1015			1015			1015			

【指導形態】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
日常生活の指導	0	0	0	0	0	0	
生活単元学習	48	50	35	35	35	35	
遊びの指導	0	0	0	0	0	0	
合計	48	50	35	35	35	35	

様式１３　小学部〔ⅡA課程〕

②【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
日常生活の指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	
生活単元学習	生活	6	6	6	6	6	6	
	国語	6	6	6	6	6	6	
	算数	6	6	6	6	6	6	
	音楽	5	6	5	5	5	5	
	図画工作	5	6	6	6	5	5	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	10	10	3	3	3	3	
	外国語活動			0	0	1	1	
	特別活動	10	10	3	3	3	3	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	**48**	**50**	**35**	**35**	**35**	**35**	
遊びの指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	

各教科等を合わせた指導合計	**48**	**50**	**35**	**35**	**35**	**35**	

様式１３　小学部〔　ⅡB　課程〕

Ⅱ課程（知的特別支援学校小学部の教育課程で編成）

①　標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】

		1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考
		総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	
各教科	生活	192	34	158	195	35	160	230	70	160	230	70	160	220	70	150	220	70	150	
	国語	111	68	43	150	105	45	150	105	45	150	105	45	150	105	45	150	105	45	
	算数	77	34	43	80	35	45	80	35	45	115	70	45	115	70	45	115	70	45	
	音楽	102	68	34	105	70	35	105	70	35	105	70	35	105	70	35	105	70	35	
	図画工作	43	34	9	45	35	10	80	70	10	80	70	10	80	70	10	80	70	10	
	体育	34	34	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	保健を含む
道徳科		23	0	23	25	0	25	25	0	25	25	0	25	25	0	25	25	0	25	
外国語活動								0	0	0	0	0	0	10	0	10	10	0	10	
特別活動		28	0	28	30	0	30	30	0	30	30	0	30	30	0	30	30	0	30	
自立活動		240	170	70	245	175	70	245	175	70	245	175	70	245	175	70	245	175	70	
合計	教科別の指導で行う時数		442			490			560			595			595			595		
	合わせた指導で行う時数			408			420			420			420			420			420	
	総時数	850			910			980			1015			1015			1015			

【指導形態】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
みらいタイム	340	350	350	350	350	350	
生活単元学習	68	70	70	70	70	70	
遊びの指導	0	0	0	0	0	0	
合計	408	420	420	420	420	420	

様式１３　小学部〔ⅡB課程〕

②【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
みらいタイム	生活	135	140	140	140	140	140	
	国語	34	35	35	35	35	35	
	算数	34	35	35	35	35	35	
	音楽	34	35	35	35	35	35	
	図画工作	0	0	0	0	0	0	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	14	15	15	15	15	15	
	外国語活動			0	0	0	0	
	特別活動	19	20	20	20	20	20	
	自立活動	70	70	70	70	70	70	
	合計	**340**	**350**	**350**	**350**	**350**	**350**	
生活単元学習	生活	23	20	20	20	10	10	
	国語	9	10	10	10	10	10	
	算数	9	10	10	10	10	10	
	音楽	0	0	0	0	0	0	
	図画工作	9	10	10	10	10	10	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	9	10	10	10	10	10	
	外国語活動			0	0	10	10	
	特別活動	9	10	10	10	10	10	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	**68**	**70**	**70**	**70**	**70**	**70**	
遊びの指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	
各教科等を合わせた指導合計		**408**	**420**	**420**	**420**	**420**	**420**	

様式１３　小学部〔　訪問ⅡA　課程〕

訪問教育Ⅱ課程（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

③　標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】

		1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考
		総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	
各教科	生活	30	25	5	30	25	5	27	22	5	27	22	5	27	22	5	27	22	5	
	国語	27	22	5	28	23	5	27	22	5	27	22	5	27	22	5	27	22	5	
	算数	27	22	5	28	23	5	27	22	5	27	22	5	27	22	5	27	22	5	
	音楽	27	22	5	28	23	5	27	22	5	27	22	5	27	22	5	27	22	5	
	図画工作	27	22	5	28	23	5	27	22	5	27	22	5	27	22	5	27	22	5	
	体育	22	22	0	23	23	0	22	22	0	22	22	0	22	22	0	22	22	0	保健を含む
道徳科		5	3	2	5	3	2	9	7	2	9	7	2	6.5	5	1.5	6.5	5	1.5	
外国語活動								0	0	0	0	0	0	5	4	1	5	4	1	
特別活動		5	3	2	5	3	2	9	7	2	9	7	2	6.5	5	1.5	6.5	5	1.5	
自立活動		34	34	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	
合計	教科別の指導で行う時数		175			181			181			181			181			181		
	合わせた指導で行う時数			29			29			29			29			29			29	
	総時数	204			210			210			210			210			210			

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	0	0	0	0
生活単元学習	29	29	29	29	29	29
遊びの指導	0	0	0	0	0	0
合計	29	29	29	29	29	29

様式１３　小学部〔訪問ⅡA課程〕

④【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
日常生活の指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	
生活単元学習	生活	5	5	5	5	5	5	
	国語	5	5	5	5	5	5	
	算数	5	5	5	5	5	5	
	音楽	5	5	5	5	5	5	
	図画工作	5	5	5	5	5	5	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	2	2	2	2	1.5	1.5	
	外国語活動			0	0	1	1	
	特別活動	2	2	2	2	1.5	1.5	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	**29**	**29**	**29**	**29**	**29**	**29**	
遊びの指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	

各教科等を合わせた指導合計	**29**	**29**	**29**	**29**	**29**	**29**	

様式１３　小学部〔　訪問ⅡB　課程〕

訪問教育Ⅱ課程（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

③　標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】

		1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考
		総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	
各教科	生活	41	20	21	41.5	17.5	24	41.5	17.5	24	41.5	17.5	24	36.5	17.5	19	36.5	17.5	19	
	国語	25	17	8	26	17.5	8.5	26	17.5	8.5	26	17.5	8.5	26	17.5	8.5	26	17.5	8.5	
	算数	25	17	8	26	17.5	8.5	26	17.5	8.5	26	17.5	8.5	26	17.5	8.5	26	17.5	8.5	
	音楽	20	17	3	21	17.5	3.5	21	17.5	3.5	21	17.5	3.5	21	17.5	3.5	21	17.5	3.5	
	図画工作	22	14	8	22.5	17.5	5	22.5	17.5	5	22.5	17.5	5	22.5	17.5	5	22.5	17.5	5	
	体育	17	17	0	17.5	17.5	0	17.5	17.5	0	17.5	17.5	0	17.5	17.5	0	17.5	17.5	0	保健を含む
道徳科		6	0	6	6.5	0	6.5	6.5	0	6.5	6.5	0	6.5	6.5	0	6.5	6.5	0	6.5	
外国語活動								0	0	0	0	0	0	5	0	5	5	0	5	
特別活動		7	0	7	7	0	7	7	0	7	7	0	7	7	0	7	7	0	7	
自立活動		41	34	7	42	35	7	42	35	7	42	35	7	42	35	7	42	35	7	
合計	教科別の指導で行う時数		136			140			140			140			140			140		
	合わせた指導で行う時数			68			70			70			70			70			70	
	総時数	204			210			210			210			210			210			

【指導形態】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
みらいタイム	34	35	35	35	35	35	
生活単元学習	34	35	35	35	35	35	
遊びの指導	0	0	0	0	0	0	
合計	68	70	70	70	70	70	

様式１３　小学部〔訪問ⅡB課程〕

④【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
みらいタイム	生活	12	14	14	14	14	14	
	国語	3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	算数	3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	音楽	3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	図画工作	3	0	0	0	0	0	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
	外国語活動			0	0	0	0	
	特別活動	2	2	2	2	2	2	
	自立活動	7	7	7	7	7	7	
	合計	**34**	**35**	**35**	**35**	**35**	**35**	
生活単元学習	生活	9	10	10	10	5	5	
	国語	5	5	5	5	5	5	
	算数	5	5	5	5	5	5	
	音楽	0	0	0	0	0	0	
	図画工作	5	5	5	5	5	5	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	5	5	5	5	5	5	
	外国語活動			0	0	5	5	
	特別活動	5	5	5	5	5	5	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	**34**	**35**	**35**	**35**	**35**	**35**	
遊びの指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	

各教科等を合わせた指導合計	**68**	**70**	**70**	**70**	**70**	**70**	

様式８　小学部
年間行事計画

学期	月日	曜日	行事名		時間配当						備考
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
一学期	4月7日	火	儀式的	1学期始業式		1	1	1	1	1	
	4月8日	水	儀式的	入学式	1	1	1	1	1	1	
	4月16日	木	健康安全・体育的	身体測定（高）				1	1	1	
	4月17日	金	健康安全・体育的	身体測定（低）	1	1	1				
	5月20日	水	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	1	1	1	
	5月28日	木	健康安全・体育的	心電図検査	1						
	2026/7/2～2026/7/3	木、金	旅行・集団宿泊的	宿泊学習（５年）					10		
	7月17日	木	儀式的	1学期終業式	1	1	1	1	1	1	
	小計				5	5	5	5	15	5	

学期	月日	曜日	行事名		時間配当						備考
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
二学期	9月1日	火	儀式的	２学期始業式	1	1	1	1	1	1	
	9月9日	水	健康安全・体育的	地震・津波避難訓練	1	1	1	1	1	1	
	2026/10/22～2026/10/23	木、金	旅行・集団宿泊的	修学旅行（6年）						10	
	12月25日	金	儀式的	2学期終業式	1	1	1	1	1	1	
	小計				3	3	3	3	3	13	

学期	月日	曜日	行事名		時間配当						備考
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
三学期	1月6日	水	儀式的	３学期始業式	1	1	1	1	1	1	
	3月12日	金	儀式的	高等部卒業式	2	2	2	2	2	2	
	3月18日	木	儀式的	小中卒業式	2	2	2	2	2	2	
	3月19日	金	儀式的	修了式・離任式	1	1	1	1	1		
	小計				6	6	6	6	6	5	
合計					14	14	14	14	24	23	

様式９　小学部
その他特別活動の計画

１　小学部様式
児童会活動、クラブ活動（小学部のみ）年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当						備考
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
児童会活動	１学期	1	新入生・転入生を迎える会(2) 児童生徒総会(1)	3	3	3	3	3	3	
	２学期	0		0	0	0	0	0	0	
	３学期	3	児童会役員選挙告示(1) 卒業生を祝う会(2)	3	3	3	3	3	3	
	小計	4		6	6	6	6	6	6	
クラブ活動	１学期	0		0	0	0	0	0	0	
	２学期	0		0	0	0	0	0	0	
	３学期	0		0	0	0	0	0	0	
	小計	0		0	0	0	0	0	0	
合計				6	6	6	6	6	6	

様式11小学部　年間総授業時数換算表

事　項		授業時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
A 様式１０の学年別授業時数の学年末累計を転記		908	962	1019	1048	1038	1036
B A欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数		908	962	1019	1048	1038	1036
特別活動（学級活動等を除く）	C 様式８（年間行事計画)の時間配当の合計を転記	14	14	14	14	24	23
	D Ｃ欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	14	14	14	14	24	23
	E 様式９（ その他特別活動の計画）の時間配当の合計を転記	6	6	6	6	6	6
	F Ｅ欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	6	6	6	6	6	6
	G D 欄＋ F 欄の時数を記入	20	20	20	20	30	29
H Ｂ欄－Ｆ欄の時数を記入（年間総授業時数）		902	956	1013	1042	1032	1030

8　中 学 部

（1）中学部の目標

生徒一人一人の個々の障害の状態や発達段階に応じた学習目標を設定し、基本的生活習慣の確立や主体的に人や環境とかかわり、社会生活を広げ、意欲的に学習に取り組もうとする生徒を育成する。

①心や身体が健やかな人

健康な心と体をつくり、自ら健康で安全な生活をつくろうとする生徒を育てる。

（生活習慣の確立、豊かな人間性）

②進んで何事にも取り組む人

様々な活動に意欲的に取り組もうとする生徒を育てる。（主体性）

③おもいを伝えられる人

自分のおもいや考えを他者に伝えようとする生徒を育てる。（自己選択、自立）

④自らを理解し、他者を大切にする人

自分のこと（好きなこと、得意なこと、性格等）を理解することができ、他者の存在を認めようとする生徒。（自己理解・他者理解）

⑤持てる力(自分らしさ)を発揮し、自立し社会に参加・貢献する人

自分ができることや持てる力で任されたことを粘り強く最後まで取り組もうとする生徒を育てる。（社会参加、協働）

（2）教育課程の編成方針　〈教育課程一覧表〉

Ⅰ課程	・中学校の当該学年に準じた教育活動に自立活動を加え編成する。 ・障害の状態により当該学年の学習が困難な生徒は下学年代替とする。 ・当該学部終了までに当該学部の全教科の内容が修了できるよう編成する。
Ⅱ課程Ａ	・『教科別（国・社・数・理・音・美・保体・職家・外国語（英語））の指導』及び、特別の教科道徳、特別活動、自立活動、総合学習の指導を適切に配当して編成する。
Ⅱ課程Ｂ	・『教科別（国・社・数・理・音・美・保体・職家・外国語（英語））の指導』及び、特別の教科道徳、特別活動、自立活動、総合学習の指導を適切に配当して編成する。 ・『各教科等を合わせた指導』としてみらいタイムを行い、各教科等での学びの定着・統合や学校生活および卒業後のキャリア形成に向けた、豊かな生活を送るためのスキルを獲得するための学習を行う。
訪問学級 Ⅰ課程	・中学校の当該学年に準じた教育活動に自立活動を加え編成する。 ・障害の状態により当該学年の学習が困難な生徒は下学年代替とする。 ・生徒の実態・発達段階に応じて履修内容を考慮する。

訪問学級 Ⅱ課程	・『教科別（国・社・数・理・音・美・保体・職家・外国語（英語））の指導』及び、特別の教科道徳、特別活動、自立活動の指導を適切に配当して編成する。 ・『各教科等を合わせた指導』としてみらいタイムを行い、各教科等での学びの定着・統合や学校生活および卒業後のキャリア形成に向けた、豊かな生活を送るためのスキルを獲得するための学習を行う。 ・生徒の実態・発達段階に応じて履修内容を考慮する。

（３） 各教科の重点目標

【Ⅰ課程（下学年代替の場合を含む)】

① 各教科 （知）知識及び技能（思）思考力, 判断力, 表現力等（学）学びに向かう力, 人間性等

ア 国語

（知）社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

（思）順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

（学）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

イ 社会

（知）我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（思）社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（学）社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

ウ 数学

（知）数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

（思）数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

（学）数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

エ 理科

（知）自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

（思）観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

（学）自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

オ　音楽

（知）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

（思）音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

（学）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

カ　美術

（知）対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（思）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（学）美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

キ　保健体育

（知）各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

（思）運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

（学）生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

ク　技術・家庭

（知）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（思）生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

（学）よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

ケ　外国語

（知）外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

（思）コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

（学）外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

②特別の教科 道徳

ア 望ましい生活習慣を身に付け、自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し誠実に実行する態度を養う。

イ 思いやりの心をもって人と接するとともに、それぞれの個性を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、自らを高めていく態度を養う。

ウ 法やきまりの意義を理解し、様々な集団の中で自分の役割と責任を自覚して行動しようとする態度を養う。

エ 生命の尊さや自然の崇高さを知り、美しいものや気高いものに感動する心を育てる。

③総合的な学習の時間

（知）探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。

（思）実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

（学）探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

※ 生徒の障害の状態及び発達段階、特性等を十分考慮し、指導内容を工夫する。

④特別活動

（知）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

（思）集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

（学）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤自立活動

個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

【Ⅱ課程】

① 各教科　（知）知識及び技能（思）思考力, 判断力, 表現力等（学）学びに向かう力, 人間性等

ア　国語

（知）日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。

（思）日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを持ったり、まとめたりすることができるようにする。

（学）言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切にして、思いや考えを伝えあおうとする態度を養う。

イ　社会

（知）地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（思）社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

（学）社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。

ウ　数学

（知）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。

（思）日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

（学）数学的活動の楽しさや数学の良さに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

エ　理科

（知）自然の事物・現象について基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。

（思）観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。

（学）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。

オ　音楽

（知）曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。

（思）音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。

（学）進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

カ　美術

（知）造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。

（思）造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。

（学）楽しく美術の活動に取り組み、造形活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。

キ　保健体育

（知）各種の運動の楽しさや喜びを味わい、体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身につけるようにする。

（思）各種の運動や健康な生活における自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。

（学）各種の運動に積極的に取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進と回復に進んで取り組む態度を養う。

ク　職業・家庭

（知）生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。

（思）将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考えられるようにする。

（学）よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

ケ　外国語(英語)

（知）外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。

（思）身近で簡単な事柄について、外国語で表現する力の素地を養う。

（学）外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

②特別の教科 道徳

ア　望ましい生活習慣を身に付け、物事を正しく判断し、行動する態度を養う。

イ　思いやりの心をもって人と接するとともに、自分と異なる意見を尊重する態度を養う。

ウ　約束や集団のきまりを理解し、様々な集団の中で自分の役割と責任を自覚して行動しようと

する態度を養う。

エ　生命の尊さや自然の偉大さを知り、美しいものに感動する心を育てる。

③総合的な学習の時間

(知)探究的な学習では、各教科等の学習で培われた資質・能力を総合的に関連付け、具体的に指導内容を設定し、個々の生徒の実態に応じ、補助用具や補助的手段、コンピュータ等の情報機器を適切に活用して知識・技能を身に付ける。

(思) 探究的な学習では、知的障害のある生徒の学習上の特性として、学習によって得た知識や技能が断片的になりやすいことを踏まえ、各教科等の学習で培われた資質・能力を総合的に関連付けながら具体的に指導内容を設定し、生徒が自らの課題を解決できる力を養う。

(学) 各教科等で身に付けた知識や技能等を相互に関連づけ、生徒の興味・関心や発達段階等に基づき、豊かな体験の場（就業体験・自然にかかわる体験活動・交流及び共同学習等）を設定し、主体的、創造的に取り組む態度と能力を養う。

④特別活動

(知)望ましい集団活動を通して集団や社会の一員としてみんなと協力し、助けあう態度を育てる。

(思) 望ましい集団活動を通してよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

(学) 望ましい集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築き、自己を生かす能力を養う。

⑤自立活動

個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

⑥各教科等を合わせた指導

以下の指導は、いろいろな教科等の一部または全部を合わせた内容を取り扱うものとする。

ア　みらいタイム（Ⅱ課程B、訪問学級Ⅱ課程）

（４）　交流及び共同学習の重点

障害のある子供と障害のない子供、または、地域の障害のある人とが触れ合い、共に活動する中で、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う態度を育む。また、共同学習においては、教科等のねらいが達成できるように留意して、計画的・組織的に近隣や居住地の中学校等と連携し、推進する。

（５）　生徒指導の重点

生徒と教師との信頼関係を築く中で、家庭や地域と連携し、思春期にあって生活環境の急激な変化を受けている生徒一人一人の不安や悩みに目を向け、生徒の内面に対する共感的理解をもって生徒理解の深化を図る。

生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高められ、仲間と成長できるようにする。

① 好ましい人間関係をつくり、集団の規律やマナーを理解し、守る態度を育む。

② 一人一人の居場所をつくり、だれもが楽しくわかる授業づくりの中で学習に参加し、安全・安心感を味わいながら、自己肯定感を育む。

③ 自分らしさが輝く場面をつくり、一人一人の能力や資質、感性等が学校生活の中で認められる機会を設け、主体的に取り組む力や自己決定する力を育む。

（６） キャリア教育の重点

生徒一人一人の障害の状態に応じ、自らの力で生き方を選択していくことができるよう、必要な能力や態度を身に付けられるようにする。また、特別活動をキャリア教育の要として各教科等をつなぎ、キャリア教育の充実を図る。

① 自分を理解し、中学部卒業後の自分をイメージし、選ぶ力を育む。

② 自己理解し、自分ができる役割を進んで行う中で、職業生活に必要な習慣形成力を育むことや将来や職業、生きがいなどがあることを知る。

③ 社会生活に必要な意思表現を行い、自己理解や学級や学部の活動で仲間とともに活動する中で他者理解の力を高め、協力・協同する力を育む。

④ 社会の仕組みやルールの理解を広げ、収集した情報を活用する力を育む中で、金銭の扱いに慣れ、働くことについて知る

（７） 生涯学習への意欲を高める指導の重点

生徒が、学校教育を通じて身につけた知識及び技能を活用し、持てる能力を最大限伸ばすことができるよう生涯学習への意欲を高める。

① 各教科等の学びの中で人との関わり、身体を動かす、音楽に親しむなど、生涯学習につながる経験の拡大を図る。

② 交流及び共同学習等において体験する機会を設け、地域のスポーツや文化芸術活動に参加し、親しむ中で生涯学習につながる経験の拡大を図る。

（８） ＩＣＴ機器利活用の重点

ＧＩＧＡスクール構想（教育ＩＣＴ環境の整備）により学びの個別最適化が図られることや合理的配慮の提供を適切に行うことが可能となり、必要な資質・能力が、一層確実に育成できるようにする。情報収集能力の育成と教科の学習目標を達成するための手段として理解し、活用を図る。（(活) 情報活用能力の育成　(プ) プログラミング的思考の育成　(モ) 情報モラル・情報セキュリティを示す）

また、障害の状態により特に合理的配慮がコンピュータ等で円滑に行うことができる場合は、自立活動の指導において取組み、当該生徒が理解して活用できるようにする。

【肢体不自由・病弱】

情報収集能力の育成と教科の学習目標を達成するための手段として理解し、活用を図る。特に技術・家庭科（技術分野）においてプログラミング、情報セキュリティに関する指導の充実を図る。

【知的障害】

情報収集能力の育成と教科の学習目標を達成するための手段として理解し、活用を図る。特に職業・家庭（Ｂ情報機器の活用）において指導の充実を図る。（(活）情報活用能力の育成　（プ）プログラミング的思考の育成　（モ）情報モラル・情報セキュリティを示す）

〇コンピュータ等の基本的な使い方について、体験を通して知る。

(活) 職業・家庭をはじめその他の教科等の指導の際にその特性に応じた指導の中で学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作方法を知る。

例　文字や文章の入力、インターネットの検索、調べたことをまとめる等

(プ) コンピュータ等には明確な手順を命令する必要があることに気づく。

(モ) 情報モラル・情報セキュリティについて知る。

（９） 安全教育の重点

学校における適切な安全管理と安全教育の充実を図り、安全・安心な学校安全な組織・体制の構築に努め、児童生徒が自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成する。

① 教育活動全体を通して「防犯教育・防災教育・交通安全教育・河川・海浜等における事故防止教育」の訓練等で理解を深め、小学部等での学びを踏まえ、生徒が、危険な場所や場面について理解し、危険回避ができるようにする。

様式４　中学部

①　授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	196
２年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
３年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	14	196
備考													

②　訪問教育授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	9	12	12	7	0	12	12	12	11	10	10	9	116
２年	10	12	12	7	0	12	12	12	11	10	10	9	117
３年	10	12	12	7	0	12	12	12	11	10	10	9	117
備考	授業日数は週３日、授業時数は週６時間を標準とする。												

様式５　中学部　（　Ⅰ　）課程

①　標準授業時数表

Ⅰ課程（中学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等			１年		２年		３年		備考
			授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	国語		140	4	140	4	105	3	
	社会		105	3	105	3	140	4	
	数学		140	4	105	3	140	4	
	理科		105	3	140	4	140	4	
	音楽		35	1	35	1	35	1	
	美術		35	1	35	1	35	1	
	保健体育		70	2	70	2	70	2	保健を含む
	技術・家庭	技術分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
		家庭分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
	外国語		140	4	140	4	140	4	
	選択教科		0		0		0		
			0		0		0		
			0		0		0		
小計			840	24	840	24	840	24	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な学習の時間			70	2	70	2	70	2	
特別活動			35	1	35	1	35	1	
自立活動			35	1	35	1	35	1	
計			175	5	175	5	175	5	
合計			1015	29	1015	29	1015	29	

様式５　中学部　（訪問Ⅰ）課程

①　標準授業時数表

訪問教育Ⅰ課程（中学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等			１年	２年	３年	備考
各教科	国語		28	28	21	
	社会		21	21	28	
	数学		28	21	28	
	理科		21	28	28	
	音楽		7	7	7	
	美術		7	7	7	
	保健体育		7	7	7	保健を含む
	技術・家庭	技術分野	7	7	3.5	
		家庭分野	7	7	3.5	
	外国語		28	28	28	
	選択教科		0	0	0	
			0	0	0	
			0	0	0	
小計			161	161	161	
道徳科			3.5	3.5	3.5	
総合的な学習の時間			7	7	7	
特別活動			3.5	3.5	3.5	
自立活動			35	35	35	
計			49	49	49	
合計			210	210	210	

様式５　中学部　（　Ⅱ　）課程　A

②　標準授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校中学部の教育課程で編成）

教科等			1年		2年		3年		備考
			授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	国語		140	4	140	4	140	4	
	社会		70	2	70	2	70	2	
	数学		140	4	140	4	140	4	
	理科		70	2	70	2	70	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		105	3	105	3	105	3	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	70	2	70	2	70	2	
		家庭分野	70	2	70	2	70	2	
	外国語		70	2	70	2	70	2	
	選択教科		0		0		0		
			0		0		0		
			0		0		0		
小計			875	25	875	25	875	25	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な学習の時間			35	1	35	1	35	1	特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない
特別活動			35	1	35	1	35	1	
自立活動			70	2	70	2	70	2	
計			140	4	140	4	140	4	
合計			1015	29	1015	29	1015	29	

様式５　中学部　（訪問Ⅱ）課程　A

②　標準授業時数表

訪問教育Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			1年	2年	3年	備考
各教科	国語		28	28	28	
	社会		14	14	14	
	数学		28	28	28	
	理科		14	14	14	
	音楽		14	14	14	
	美術		14	14	14	
	保健体育		14	14	14	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	14	14	14	
		家庭分野	14	14	14	
	外国語		7	7	7	
	選択教科		0	0	0	
			0	0	0	
			0	0	0	
小計			161	161	161	
道徳科			7	7	7	
総合的な学習の時間			0.2	0.2	0.2	特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない
特別活動			7	7	7	
自立活動			35	35	35	
計			49	49	49	
合計			210	210	210	

様式５　中学部　（　Ⅱ　）課程　B

②　標準授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校中学部の教育課程で編成）

教科等			1年		2年		3年		備考
			授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	国語		140	4	140	4	140	4	
	社会		70	2	70	2	70	2	
	数学		140	4	140	4	140	4	
	理科		70	2	70	2	70	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		70	2	70	2	70	2	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	70	2	70	2	70	2	
		家庭分野	70	2	70	2	70	2	
	外国語		35	1	35	1	35	1	
	選択教科		0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	
小計			805	23	805	23	805	23	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な学習の時間			35	1	35	1	35	1	特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない
特別活動			35	1	35	1	35	1	
自立活動			140	4	140	4	140	4	
計			210	6	210	6	210	6	
合計			1015	29	1015	29	1015	29	

様式５　中学部　（訪問Ⅱ）課程　B

②　標準授業時数表

訪問教育Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			1年	2年	3年	備考
各教科	国語		28	28	28	
	社会		14	14	14	
	数学		28	28	28	
	理科		14	14	14	
	音楽		14	14	14	
	美術		14	14	14	
	保健体育		14	14	14	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	14	14	14	
		家庭分野	14	14	14	
	外国語		7	7	7	
	選択教科		0	0	0	
			0	0	0	
			0	0	0	
小計			161	161	161	
道徳科			7	7	7	
総合的な学習の時間			0.2	0.2	0.2	特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない
特別活動			7	7	7	
自立活動			35	35	35	
計			49	49	49	
合計			210	210	210	

様式14　中学部（　Ⅱ　）課程　B
Ⅱ課程（知的特別支援学校中学部の教育課程で編成）
①　標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】

			1年					2年					3年					備考
			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			
各教科	国語		140	70	70	み	70	140	70	70	み	70	140	70	70	み	70	
							0					0					0	
							0					0					0	
	社会		70	70	0	み	0	70	70	0	み	0	70	70	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	数学		140	70	70	み	70	140	70	70	み	70	140	70	70	み	70	
							0					0					0	
							0					0					0	
	理科		70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
	音楽		70	70	0	み	0	70	70	0	み	0	70	70	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	美術		70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
	保健体育		70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	保健も含む
							0					0					0	
							0					0					0	
	職業・家庭	職業分野	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
		家庭分野	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
	外国語		35	35	0	み	0	35	35	0	み	0	35	35	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	選択教科		0					0					0					
			0					0					0					
道徳科			35	17	18	み	18	35	17	18	み	18	35	17	18	み	18	
							0					0					0	
							0					0					0	
特別活動			35	18	17	み	17	35	18	17	み	17	35	18	17	み	17	
							0					0					0	
							0					0					0	
自立活動			140	140	0	み	0	140	140	0	み	0	140	140	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
総合的な学習の時間			35					35					35					特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない
合計	教科別の指導で行う時数			665					665					665				
	各教科等を合わせた指導で行う時数						350					350					350	
	総時数		1015					1015					1015					

【指導形態】

みらいタイム	350	350	350	
	0	0	0	
	0	0	0	
合計	350	350	350	

様式14　中学部（Ⅱ課程）

②【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

			1年	2年	3年	備考
みらいタイム	国語		70	70	70	
	社会		0	0	0	
	数学		70	70	70	
	理科		35	35	35	
	音楽		0	0	0	
	美術		35	35	35	
	保健体育		35	35	35	
	職業・家庭	職業分野	35	35	35	
		家庭分野	35	35	35	
	外国語		0	0	0	
	道徳科		18	18	18	
	特別活動		17	17	17	
	自立活動		0	0	0	
	合計		350	350	350	

	国語					
	社会					
	数学					
	理科					
	音楽					
	美術					
	保健体育					
	職業・家庭	職業分野				
		家庭分野				
	外国語					
	道徳科					
	特別活動					
	自立活動					
	合計		0	0	0	

	国語					
	社会					
	数学					
	理科					
	音楽					
	美術					
	保健体育					
	職業・家庭	職業分野				
		家庭分野				
	外国語					
	道徳科					
	特別活動					
	自立活動					
	合計		0	0	0	

各教科等を合わせた指導合計	350	350	350	

様式14　中学部（訪問Ⅱ）課程　B
訪問教育Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）
①　標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】

			1年					2年					3年					備考
			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			
各教科	国語		28	14	14	み	14	28	14	14	み	14	28	14	14	み	14	
							0					0					0	
							0					0					0	
	社会		14	14	0	み	0	14	14	0	み	0	14	14	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	数学		28	14	14	み	14	28	14	14	み	14	28	14	14	み	14	
							0					0					0	
							0					0					0	
	理科		14	7	7	み	7	14	7	7	み	7	14	7	7	み	7	
							0					0					0	
							0					0					0	
	音楽		14	14	0	み	0	14	14	0	み	0	14	14	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	美術		14	7	7	み	7	14	7	7	み	7	14	7	7	み	7	
							0					0					0	
							0					0					0	
	保健体育		14	7	7	み	7	14	7	7	み	7	14	7	7	み	7	
							0					0					0	保健も含む
							0					0					0	
	職業・家庭	職業分野	14	7	7	み	7	14	7	7	み	7	14	7	7	み	7	
							0					0					0	
							0					0					0	
		家庭分野	14	7	7	み	7	14	7	7	み	7	14	7	7	み	7	
							0					0					0	
							0					0					0	
	外国語		7	7	0	み	0	7	7	0	み	0	7	7	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	選択教科		0					0					0					
			0					0					0					
道徳科			7	3.5	3.5	み	3.5	7	3.5	3.5	み	3.5	7	3.5	3.5	み	3.5	
							0					0					0	
							0					0					0	
特別活動			7	3.5	3.5	み	3.5	7	3.5	3.5	み	3.5	7	3.5	3.5	み	3.5	
							0					0					0	
							0					0					0	
自立活動			35	35	0	み	0	35	35	0	み	0	35	35	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
総合的な学習の時間			0.2					0.2					0.2					特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない
合計	教科別の指導で行う時数			140					140					140				
	各教科等を合わせた指導で行う時数						70					70					70	
	総時数		210					210					210					

【指導形態】

みらいタイム	70	70	70	
	0	0	0	
	0	0	0	
合計	70	70	70	

様式14　中学部（訪問Ⅱ課程）B

②【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

			1年	2年	3年	備考
みらいタイム	国語		14	14	14	
	社会		0	0	0	
	数学		14	14	14	
	理科		7	7	7	
	音楽		0	0	0	
	美術		7	7	7	
	保健体育		7	7	7	
	職業・家庭	職業分野	7	7	7	
		家庭分野	7	7	7	
	外国語		0	0	0	
	道徳科		3.5	3.5	3.5	
	特別活動		3.5	3.5	3.5	
	自立活動		0	0	0	
	合計		**70**	**70**	**70**	

	国語					
	社会					
	数学					
	理科					
	音楽					
	美術					
	保健体育					
	職業・家庭	職業分野				
		家庭分野				
	外国語					
	道徳科					
	特別活動					
	自立活動					
	合計		**0**	**0**	**0**	

	国語					
	社会					
	数学					
	理科					
	音楽					
	美術					
	保健体育					
	職業・家庭	職業分野				
		家庭分野				
	外国語					
	道徳科					
	特別活動					
	自立活動					
	合計		**0**	**0**	**0**	

各教科等を合わせた指導合計	**70**	**70**	**70**	

様式８　中学部
年間行事計画

学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
一学期	4月7日	火	儀式的	1学期始業式		1	1	
	4月8日	水	儀式的	入学式	1	1	1	
	4月9日	木	健康安全・体育的	身体測定	1	1	1	
	5月20日	水	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	
	5月27日	水	健康安全・体育的	心電図検査	1			
	7月17日	金	儀式的	1学期終業式	1	1	1	
	小計				5	5	5	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
二学期	9月1日	火	儀式的	２学期始業式	1	1	1	
	9月9日	水	健康安全・体育的	地震・津波避難訓練	1	1	1	
	10月14日～10月16日	水～金	旅行・集団宿泊的	修学旅行			17	
	12月25日	金	儀式的	２学期終業式	1	1	1	
	小計				3	3	20	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
三学期	1月6日	水	儀式的	３学期始業式	1	1	1	
	3月12日	金	儀式的	高等部卒業式	2	2	2	
	3月18日	木	儀式的	小中卒業式	2	2	2	
	3月19日	金	儀式的	修了式・離任式	1	1		
	小計				6	6	5	
合計					14	14	30	

様式９

その他特別活動の計画

１　中学部様式

生徒会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当			備考
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年	
生徒会活動	１学期	2	新入生歓迎会(2) 児童生徒総会(1)	3	3	3	
	２学期	1	修学旅行壮行会(1)	1	1	1	
	３学期	3	生徒会役員選挙(1) 卒業生を送る会(2)	3	3	3	
合計				7	7	7	

様式11 中学部

事　項		授業時数		
		１年	２年	３年
Ａ 様式10の学年別授業時数の学年末累計を転記		1056	1061	1042
Ｂ Ａ欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数		1056	1061	1042
特別活動（学級活動等を除く）	Ｃ 様式８（年間行事計画）の時間配当の合計を転記	14	14	30
	Ｄ Ｃ欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	14	14	30
	Ｅ 様式９（その他特別活動の計画）の時間配当の合計を転記	7	7	7
	Ｆ Ｅ欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	7	7	7
	Ｇ Ｄ 欄＋ Ｆ 欄の時数を記入	21	21	37
Ｈ Ｂ欄－Ｆ欄の時数を記入（年間総授業時数）		1049	1054	1035

9　高 等 部

(1)　高等部の教育目標

卒業後の自立や社会参加・貢献を見据え、生徒一人一人が自分自身を理解し、主体的に人や環境と関わり、さまざまな活動に取り組もうとする生徒を育成する。

①心や身体が健やかな人
心身ともに健康で、心豊かに自らの健康で安全な生活を整えようとする生徒を育てる。(生活習慣の確立、豊かな人間性)

②進んで何事にも取り組む人
何事にも意欲的に挑戦し、主体的に活動しようとする生徒を育てる。(主体性)

③おもいを伝えられる人
自ら選択し、自分のおもいや考えを伝えようとする生徒を育てる。(自己選択、決定)

④自らを理解し、他者を大切にする人
人との関わりの中で自分と他者の良さや違いを認め、お互いを尊重し、協働しようとする生徒を育てる。(自己理解、他者理解、協働)

⑤持てる力(自分らしさ)を発揮し、自立し社会に参加・貢献する人
社会生活に必要な力を養い、自分の持てる力を活かし、主体的に進路選択しようとする生徒を育てる。(自立、社会参加・貢献)

(2) 教育課程の編成方針〈教育課程一覧表〉

Ⅰ課程	・ 高等学校の当該学年に準じた教育活動に自立活動を加え編成する。 ・ 障害の状態により当該学年の学習が困難な生徒は下学年代替とする。 ・ 当該学部終了までに当該学部の全教科の内容が修了できるよう編成する。
Ⅱ課程 A	・ 『教科別（国・社・数・理・音・美・保体・職業・家庭・外国語・情報）の指導』及び、特別の教科道徳、総合的な探究の時間、特別活動、自立活動の指導を適切に配当して編成する。 ・ 情報は生徒の実態に応じて履修する。
Ⅱ課程 B	・『教科別（国・社・数・理・音・美・保体・職業・家庭・外国語）の指導』及び、特別の教科道徳、総合的な探究の時間、特別活動、自立活動の指導を適切に配当して編成する。 ・『各教科等を合わせた指導』としてみらいタイムを行い、各教科等での学びの定着・統合や学校生活および卒業後のキャリア形成に向けた、豊かな生活を送るためのスキルを獲得するための学習を行う。
訪問学級 Ⅰ課程	・ 高等学校の当該学年に準じた教育活動に自立活動を加え編成する。 ・ 障害の状態により当該学年の学習が困難な生徒は下学年代替とする。 ・生徒の実態・発達段階に応じて履修内容を考慮する。
訪問学級 Ⅱ課程	・『教科別（国・社・数・理・音・美・保体・職業・家庭・外国語）の指導』及び、特別の教科道徳、総合的な探究の時間、特別活動、自立活動の指導を適切に配当して編成する。 ・『各教科等を合わせた指導』としてみらいタイムを行い、各教科等での学びの定着・統合や学校生活および卒業後のキャリア形成に向けた、豊かな生活を送るためのスキルを獲得するための学習を行う。 ・生徒の実態・発達段階に応じて履修内容を考慮する。

(3) 各教科等の指導の重点

【Ｉ課程（下学年代替の場合を含む）】

①　各教科【（知）知識及び技能　（思）思考力，判断力，表現力等　（学）学びに向かう力，人間性等】

ア　国　語

（知）生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

（思）生涯にわたる社会生活に必要な他者との関わりの中で、伝え合う力を高め、深く共感し、豊かに想像したりすることができるようにする。

（学）言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として生涯にわたり国語を尊重して、他者や社会に関わろうとする態度を養う。

イ　地理歴史

（知）現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（思）地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（学）地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

ウ　公　民

（知）選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（思）現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

（学）よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

エ　数　学

（知）数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学的に表現し処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけるようにする。

（思）数学を活用して事象を論理的に考察する力を育てる。

（学）数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。

オ　理　科

（知）自然の事物・現象について理解を深め、事象を観察し、記録・比較をする技能を身につけるようにする。

（思）実験等を通して科学的に探究する力を養う。

（学）身近な自然現象について理解し、社会や日常生活へ関連づけて考える態度を身につけるようにする。

カ　保健体育

（知）各自の運動機能についてその特性を理解し、日常生活において健康・安全に対する知識と技能を身につける。

（思）自らの生涯について理解を深め、代替できる機能を含め工夫する力と他者に対して協力を求める態度や方法を身につける。

（学）生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

キ　芸　術

（知）芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

（思）創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

（学）生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

ク　外国語

（知）外国語の音声や単語、文法、表現などに触れ知識を広げるとともにこれらの知識を聞くこと、読むこと話すこと、書くことを用いて自らの考えや体験を簡単な文章で表現する力を身につける。

（思）外国語を通じて、言語や文化に対する関心を深め、異文化に対する理解と自国の文化に対する意見を交わせる力を養う。

（学）　情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養い、世界の情勢に対して関心をもち､課題についても個人のこととして考える力を身につける。

ケ　家　庭

（知）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る知識や技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

（思）家庭や地域及び生活の中から問題を見いだして課題を設定し、考察したことを論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

（学）よりよい社会参加に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

コ　情　報

（知）効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め、技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

（思）様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

（学）情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

② 特別の教科　道徳

ア　望ましい生活習慣を身につけ、人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動をする態度を養う。

イ　人権を尊重し、性差、年齢、障害の有無を問わず、他者と共によりよく生きる態度を養う。

ウ　法やきまりの意義を理解し、自らの生き方について考え、社会連帯の自覚を高め、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養う。

エ　生命や自然に対する畏敬の念を持ち、美しいものに触れ、人間としての自覚を深める心を育てる。

③　総合的な探究の時間

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（知）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

（思）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

（学）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

④　特別活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

（知）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

（思）集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

（学）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤　自立活動

個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

【 Ⅱ課程 】

①　各教科【（知）知識及び技能　（思）思考力，判断力，表現力等　（学）学びに向かう力，人間性等】

ア　国　語

（知）社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができるようにする。

（思）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめたり、広げたりすることができるようにする。

（学）言葉がもつ良さを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

イ　社　会

（知）地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域 や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（思）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、自分の生活と結び付けて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

（学）社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

ウ　数　学

（知）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

（思）日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。

（学）数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。

エ　理　科

（知）人の体や身近な生物、事物などの仕組みや働きについて知識を深め、基礎的な技能を身につけるようにする。

（思）自然の事物・現象についてよく観察し、理解を深めるとともに、自然と生活との関係についての仕組みに気付く力を身につけるようにする。

（学）自然を大切にする気持ちを育て、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。

オ　音　楽

（知）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。

（思）意図をもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

（学）主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。

カ　美　術

（知）造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（思）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、自ら表したいことを生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（学）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

キ　保健体育

（知）各種の運動の楽しさや喜びを味わい、心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深め、目的に応じた技能を身につける。

（思）自他の課題を発見し、仲間と思考・判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

（学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力し生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。

ク　職　業

（知）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。

（思）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践する力を養う。

（学）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。

ケ　家　庭

（知）生活の自立に必要な、家庭生活や衣食住、消費生活等について理解し、それに係る技能を身に付けるようにする。

（思）家庭や地域の中から課題を見いだし、解決策を考え、考えたことを表現する力を養う。

（学）よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。

コ　外国語（英語）

（知）コミュニケーションで活用できる基礎的な語彙や表現力を身につける。

（思）日常生活の場面で使われる簡単な表現を用いて自分の気持ちなどを伝え合うことができる力を養う。

（学）外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

サ　情　報

（知）IT 機器の活用や情報端末を使ったコミュニケーションマナーについて理解する。

（思）問題解決学習を通して、自分が意図する一連の活動を実現するために、論理的に考えていく力を身につけることで、身近な出来事を情報と結びつけて捉えられるようにする。

（学）身近にある情報に対しては、その正しさについて、自分だけでなく周囲の人とも相談しながら適切に判断しようとする態度を育てる。

②　特別の教科　道徳

ア　望ましい生活習慣を身に付け、物事の善悪を判断し、よく考えて行動する態度を養う。

イ　礼儀正しく、他人を思いやり、性差、年齢、障害の有無を問わず、相手を理解しようとする態度を養う。

ウ　法やきまりの意義を理解し、自らの生き方について考え、社会の一員として社会参画する意欲と態度を養う。

エ　生命の尊さや自然の偉大さを理解し、美しいものに触れ、人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

③　総合的な探究の時間

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（知）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

（思）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

（学）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

〔下記のことに配慮する〕

ア　生徒の障害の状態や発達の段階等を十分考慮し、学習活動が効果的に行われるよう配慮すること。

イ　体験活動に当たっては、安全と保健に留意するとともに、学習活動に応じて、中学部又は中学校までの学習を踏まえ、高等学校の生徒などと交流及び共同学習を行うよう配慮すること。

ウ　知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校において、探究的な学習を行う場合には、知的障害のある生徒の学習上の特性として、学習によって得た知識や技能が断片的になりやすいことなどを踏まえ、各教科等の学習で培われた資質・能力を総合的に関連付けながら、具体的に指導内容を設定し、生徒が自らの課題を解決できるように配慮すること。

④　特別活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

（知）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

（思）集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

（学）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

〔下記のことに配慮する。〕

ア　指導計画の作成に当たっては、生徒の少人数からくる種々の制約を解消し、積極的な集団活動が行われるよう配慮する必要があること。

イ　生徒の経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むために、集団活動を通して高等学校の生徒などと交流及び共同学習を行ったり、地域の人々などと活動を共にしたりする機会を積極的に設ける必要があること。その際、生徒の障害の状態や特性等を考慮して、活動の種類や時期、実施方法等を適切に定めること。

ウ　知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校において、内容の指導に当たっては、個々の生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じて、適切に指導の重点を定め、具体的に指導する必要があること。

⑤　自立活動

個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

（指導の形態として）

⑥　各教科等を合わせた指導

ア みらいタイム（Ⅱ課程Ｂ、訪問学級Ⅱ課程Ｂ）

(4) 交流及び共同学習の重点

交流の機会においては、障害のある生徒と障害のない生徒、または、地域の障害のある人とが触れ合い、共に活動する中で、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う態度を育む。また、共同学習においては、教科等のねらいが達成できるように留意して、計画的・組織的に近隣や居住地の高等学校等と連携し、推進する。

(5) 生徒指導の重点

生徒と教師との信頼関係を築く中で、家庭や地域と連携し、青年期にある生徒一人一人の不安や悩みに目を向け、生徒の内面に対する共感的理解をもって生徒理解の深化を図る。

生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高められ、仲間と成長できるようにする。

①好ましい人間関係をつくり、集団の規律やマナーを理解し、守る態度を育み、自らの行動を選択決定していく態度を育む。

②一人一人の居場所をつくり、だれもが楽しくわかる授業づくりの中で学習に参加し、安全・安心感を味わいながら、自己肯定感を育み、役割意識を育む。

③自分らしさが輝く場面をつくり、一人一人の能力や資質、感性等が学校生活の中で認められる機会を設け、自立し社会参加・貢献するために主体的に取り組む力や自己決定する実践的な力を育む。

(6) キャリア教育の重点

生徒一人一人の障害の状態に応じ、自らの力で生き方を選択していくことができるよう、必要な能力や態度を身に付けられるようにする。また、特別活動をキャリア教育の要として各教科等をつなぎ、キャリア発達の充実を図る。

〔自己理解〕産業現場等による実習を通して、これまでの学びを振り返り、自らの意思に基づき進路を選択する力や自らのこれからの目標を定め、取り組もうとする力、様々な課題と折り合いをつける調整力を育む。

〔自立、社会貢献〕自己理解し、自分の役割を理解し、実行する力、社会生活に必要な習慣の形成、将来設計を行う力、余暇を活用する力などを育む。

〔社会参加〕場に応じた意思表現を行い、他者の考えや個性を理解する中で、自分自身を理解し、必要な支援を求め、相談できる力を育む。

〔社会参加・貢献〕職業生活等に必要な事柄の情報収集と活用する力や法や制度、消費生活を理解し対応する力や職業や働くことの意義を理解する力を育む。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

生徒が、学校教育を通じて身につけた知識及び技能を活用し、持てる能力を最大限伸ばすことができるよう生涯学習への意欲を高める。

①各教科等の学びの中で人との関わり、身体を動かす、音楽に親しむなど、生涯学習につながる経験の拡大を図る。

②交流及び共同学習等において体験する機会を設け、卒業後を見据え、地域のスポーツや文化芸術活動に参加し、親しむ中で生涯学習につながる経験の拡大を図る。

(8) ICT 機器利活用の重点

ＧＩＧＡスクール構想（教育ＩＣＴ環境の整備）により学びの個別最適化が図られることや合理的配慮の提供を適切に行うことが可能となってきたことを踏まえ、必要な資質・能力が、一層確実に育成できるようにする。

情報収集能力の育成と教科の学習目標を達成するための手段として理解し、活用を図る〔（活）情報活用能力の育成　（プ）プログラミング的思考の育成　（モ）情報モラル・情報セキュリティを示す〕。また、障害の状態により特に合理的配慮がコンピュータ等で円滑に行うことができる場合は、自立活動の指導において取り組み、当該生徒が理解して活用できるようにする。

【肢体不自由・病弱】

情報収集能力の育成と教科の学習目標を達成するための手段として理解し、活用を図る。特に情報科において共通必履修科目「情報Ｉ」においてすべての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について指導の充実を図る。

【知的障害】

情報収集能力の育成と教科の学習目標を達成するための手段として理解し、活用を図る。特に職業科（Ｂ情報機器の活用）に加え、さらに履修可能な生徒については、情報科において指導の充実を図る。（（活）情報活用能力の育成　（プ）プログラミング的思考の育成　（モ）情報モラル・情報セキュリティを示す）

○コンピュータ等の基本的な使い方について、体験を通して知る。

（活）職業・家庭をはじめその他の教科等の指導の際にその特性に応じた指導の中で学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作方法を知る。

例　文字や文章の入力、インターネットの検索、調べたことをまとめる等

（プ）コンピュータ等には明確な手順を命令する必要があることに気づく。

（モ）情報モラル・情報セキュリティについて知る。

(9) 安全教育の重点

学校における適切な安全管理と安全教育の充実を図り、安全・安心な学校、安全な組織・体制の構築に努め、生徒が自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成する。

①教育活動全体を通して「防犯教育・防災教育・交通安全教育・河川・海浜等における事故防止教育」訓練や事後学習等で理解を深め、生徒が、危険な場所や場面について理解し、中学部等までの学びを踏まえ、主体的に判断して危険回避ができるようにする。

様式６　高等部

①　授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	196
２年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
３年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	10	192
備考													

②　訪問教育授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	12	14	17	10	0	15	16	15	15	13	15	12	154
２年	13	14	17	10	0	15	16	15	15	13	15	12	155
３年	13	14	17	10	0	15	16	15	15	13	15	8	151
備考	授業日数は週４日、授業時数週８時間を標準とする。												

様式７　高等部普通科　（　Ⅰ　）課程

①　教育課程表（令和６年度以降入学者）

Ⅰ課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

各教科・科目等		科目	標準単位数	教育課程Ⅰ課程							合計			備考
				1年	2年			3年						
				共通	一般	文系	理系	一般	文系	理系	一般	文系	理系	
普通教育に関する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2							2	2	2	※2年生は、一般・文系・理系どちらかを選択。
		言語文化	2	2							2	2	2	
		論理国語	4		3	3	2	3	2	2	6	5	4	
		文学国語	4		2	2	2	2	2	2	4	4	4	
	地理歴史	地理総合	2		2	2	2				2	2	2	
		歴史総合	2	2							2	2	2	
		地理探究	3						③	※1		3		
		日本史探究	3											
		世界史探究	3											
	公民	公　　共	2	2							2	2	2	
		政治・経済	2					2	2	2	2	2	2	
	数学	数学Ⅰ	3	3	2						5	3	3	
		数学Ⅱ	4				4		4			4	4	
		数学Ⅲ	3							③			3	
		数学Ａ	2			2	2	2			2	2	2	
		数学Ｂ	2							2			2	
		数学Ｃ	2							3			3	
	理科	物理基礎	2				②						2	
		物理	4							④			4	
		化学基礎	2	2							2	2	2	
		化学	4				④						4	
		生物基礎	2	2							2	2	2	
		生物	4											
		地学基礎	2		2	2					2	2		
	保健体育	体育	7～8	2	2	2	2	3	3	3	7	7	7	
		保健	2	1	1	1	1				2	2	2	
	芸術	音楽Ⅰ	2	2							2	2	2	
		美術Ⅰ	2		2	2					2	2		
		音楽Ⅱ	2						※2		2	2		
		美術Ⅱ	2					②	②					
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3							3	3	3	
		英語コミュニケーションⅡ	4		3	4	4	2			5	4	4	
		英語コミュニケーションⅢ	4						4			4		
		論理・表現Ⅰ	2			3		3		2	3	3	2	
		論理・表現Ⅱ	2						2			2		
		論理・表現Ⅲ	2											
	家庭	家庭基礎	2							2			2	
		家庭総合	4		2	2		2	2		4	4		
	情報	情報Ⅰ	2	2							2	2	2	
		情報Ⅱ	2				※3			※3				
	学校設定教科	産業社会と人間	2	1	3	1	1	3	1	1	7	3	3	
		情報処理とデジタルリテラシー	2		2	1	①	2		①	4	1	2	
各教科・科目　小計				26	26	27	27	26	27	27	78	80	80	
総合的な探究の時間				1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	
特別活動		ホームルーム活動		2	1	1	1	1	1	1	4	4	4	
自立活動				1	2	1	1	2	1	1	5	3	3	
計				30	30	30	30	30	30	30	90	90	90	

※１　原則、数Ⅲ履修（受験で地歴探が必要な場合は地歴履修・・・琉大教育学部用）
※２　原則、芸術科目履修（２次試験で外国語が必要な場合は論理・表現Ⅲを履修・・・琉大文系学部用）
※３　原則、デジタルリテラシー選択かつ２・３年同一科目（情報Ⅱは、受験で情報Ⅱが必要になった場合のみ選択可）

◎県内大学進学対応可能（医学部は別で対策が必要）
○琉大教育学部（特支など）は理系選択で対応する。ただし、２･３年で「物理、生物、化学、地学から２」選択する必要がある。
○一般でも県内私大対応可能

様式7　高等部普通科（訪問Ⅰ)課程

① 教育課程表(令和6年度以降入学者)　「個々の体調に合わせて可能な限り履修する(特に主要5教科)」
訪問教育Ⅰ課程(高等学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成)

各教科・科目等		科目	標準単位数	教育課程Ⅰ課程（時数） 1年	2年			3年			合計			備考
				共通	一般	文系	理系	一般	文系	理系	一般	文系	理系	
普通教育に関する各教科・科目	国語	現代の国語	2	70							70	70	70	
		言語文化	2	70							70	70	70	
		論理国語	4		105	105	70	105	70	70	210	175	140	
		文学国語	4		70	70	70	70	70	70	140	140	140	
	地理歴史	地理総合	2		70	70	70				70	70	70	※2年生は、一般･文系･理系どちらかを選択。
		歴史総合	2	70							70	70	70	
		地理探究	3						105	※1		105		
		日本史探究	3											
		世界史探究	3											
	公民	公　　共	2	70							70	70	70	
		政治・経済	2					70	70	70	70	70	70	
	数学	数学Ⅰ	3	105	70						175	105	105	
		数学Ⅱ	4				140		140			140	140	
		数学Ⅲ	3							105			105	
		数学A	2			70	70	70			70	70	70	
		数学B	2							70			70	
		数学C	2							105			105	
	理科	物理基礎	2				70						70	
		物理	4							140			140	
		化学基礎	2	70							70	70	70	
		化学	4				140						140	
		生物基礎	2	70							70	70	70	
		生物	4											
		地学基礎	2		70	70					70	70		
	保健体育	体育	7～8	70	70	70	70	105	105	105	245	245	245	
		保健	2	35	35	35	35				70	70	70	
	芸術	音楽Ⅰ	2	70							70	70	70	
		美術Ⅰ	2		70	70					70	70		
		音楽Ⅱ	2						※2		70	70		
		美術Ⅱ	2					70	70					
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	105							105	105	105	
		英語コミュニケーションⅡ	4		105	140	140	70			175	140	140	
		英語コミュニケーションⅢ	4						140			140		
		論理・表現Ⅰ	2			105		105		70	105	105	70	
		論理・表現Ⅱ	2						70			70		
		論理・表現Ⅲ	2											
	家庭	家庭基礎	2							70			70	
		家庭総合	4		70	70		70	70		140	140		
	情報	情報Ⅰ	2	70							70	70	70	
		情報Ⅱ	2				※3			※3				
	学校設定教科	産業社会と人間	2	35	105	35	35	105	35	35	245	105	105	
		情報処理とデジタルリテラシー	2		70	35	35	70		35	140	35	70	
※教科・科目　小計				910	910	945	945	910	945	945	2730	2800	2800	
総合的な探究の時間				35	35	35	35	35	35	35	105	105	105	
特別活動		ホームルーム活動		70	35	35	35	35	35	35	140	140	140	
自立活動				35	70	35	35	70	35	35	175	105	105	
計				1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	3150	3150	3150	

※1　原則、数Ⅲ履修（受験で地歴探が必要な場合は地歴履修・・・琉大教育学部用）
※2　原則、芸術科目履修（２次試験で外国語が必要な場合は論理・表現Ⅲを履修・・・琉大文系学部用）
※3　原則、デジタルリテラシー選択かつ２・３年同一科目（情報Ⅱは、受験で情報Ⅱが必要になった場合のみ選択可）

◎県内大学進学対応可能（医学部は別で対策が必要）
○琉大教育学部（特支など）は理系選択で対応する。ただし、２･３年で「物理、生物、化学、地学から２」選択する必要がある。
○一般でも県内私大対応可能

様式７　高等部普通科（　Ⅱ　）課程　　A類型①

②　標準授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等			1年		２年		３年		備考
各学科に共通する各教科	国語		70	2	70	2	70	2	
	社会		70	2	70	2	70	2	
	数学		70	2	70	2	70	2	
	理科		70	2	70	2	70	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		105	3	105	3	105	3	体育理論・保健を含む
	職業		315	9	315	9	315	9	
	家庭		35	1	35	1	35	1	
	外国語		35	1	35	1	35	1	
	情報		35	1	35	1	35	1	
	学校設定教科		0		0		0		
			0		0		0		
			0		0		0		
共通教科・科目時数小計			945	27	945	27	945	27	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な探究の時間			35	1	35	1	35	1	実習等として特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない。
特別活動		ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動			35	1	35	1	35	1	
その他小計			105	3	105	3	105	3	
合計			1050	30	1050	30	1050	30	

様式７　高等部普通科（訪問Ⅱ）課程　　A類型①

②　標準授業時数表

訪問教育Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			1年	２年	３年	備考
各学科に共通する各教科	国語		35	35	35	
	社会		17.5	17.5	17.5	
	数学		35	35	35	
	理科		17.5	17.5	17.5	
	音楽		8.75	8.75	8.75	
	美術		8.75	8.75	8.75	
	保健体育		8.75	8.75	8.75	体育理論・保健を含む
	職業		8.75	8.75	8.75	
	家庭		8.75	8.75	8.75	
	外国語		35	35	35	
	情報		35	35	35	
	学校設定教科					
共通教科・科目時数小計			218.75	218.75	218.75	
道徳科			8.75	8.75	8.75	
総合的な探究の時間			17.5	17.5	17.5	実習等として特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない。
特別活動		ホームルーム活動	17.5	17.5	17.5	
自立活動			35	35	35	
その他小計			61.25	61.25	61.25	
合計			280	280	280	

様式７　高等部普通科（　Ⅱ　）課程　　A類型②

②　標準授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等			1年		2年		3年		備考
各学科に共通する各教科	国語		70	2	70	2	70	2	
	社会		70	2	70	2	70	2	
	数学		70	2	70	2	70	2	
	理科		70	2	70	2	70	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		105	3	105	3	105	3	体育理論・保健を含む
	職業		315	9	315	9	315	9	
	家庭		35	1	35	1	35	1	
	外国語		35	1	35	1	35	1	
	情報		0	0	0	0	0	0	
	学校設定教科		0		0		0		
			0		0		0		
			0		0		0		
共通教科・科目時数小計			910	26	910	26	910	26	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な探究の時間			35	1	35	1	35	1	実習等として特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない。
特別活動		ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動			70	2	70	2	70	2	
その他小計			140	4	140	4	140	4	
合計			1050	30	1050	30	1050	30	

様式７　高等部普通科（訪問Ⅱ）課程　　A類型②

②　標準授業時数表

訪問教育Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			1年	2年	3年	備考
各学科に共通する各教科	国語		35	35	35	
	社会		17.5	17.5	17.5	
	数学		35	35	35	
	理科		17.5	17.5	17.5	
	音楽		8.75	8.75	8.75	
	美術		8.75	8.75	8.75	
	保健体育		8.75	8.75	8.75	体育理論・保健を含む
	職業		8.75	8.75	8.75	
	家庭		8.75	8.75	8.75	
	外国語		35	35	35	
	情報		0	0	0	
	学校設定教科					
共通教科・科目時数小計			183.75	183.75	183.75	
道徳科			8.75	8.75	8.75	
総合的な探究の時間			17.5	17.5	17.5	実習等として特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない。
特別活動		ホームルーム活動	17.5	17.5	17.5	
自立活動			70	70	70	
その他小計			96.25	96.25	96.25	
合計			280	280	280	

様式７　高等部普通科（　Ⅱ　）課程　　B類型

②　標準授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等			1年		２年		３年		備考
各学科に共通する各教科	国語		105	3	105	3	105	3	
	社会		87.5	2.5	87.5	2.5	87.5	2.5	
	数学		105	3	105	3	105	3	
	理科		87.5	2.5	87.5	2.5	87.5	2.5	
	音楽		140	4	140	4	140	4	
	美術		35	1	35	1	35	1	
	保健体育		35	1	35	1	35	1	体育理論・保健を含む
	職業		70	2	70	2	70	2	
	家庭		35	1	35	1	35	1	
	外国語		70	2	70	2	70	2	
	情報		0	0	0	0	0	0	
	学校設定教科		0		0		0		
			0		0		0		
			0		0		0		
共通教科・科目時数小計			770	22	770	22	770	22	
道徳科			70	2	70	2	70	2	
総合的な探究の時間			35	1	35	1	35	1	実習等として特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「小計、合計」欄に含めない。
特別活動		ホームルーム活動	70	2	70	2	70	2	
自立活動			140	4	140	4	140	4	
その他小計			280	8	280	8	280	8	
合計			1050	30	1050	30	1050	30	

様式７　高等部普通科（訪問Ⅱ）課程　　B類型

②　標準授業時数表

訪問教育Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			1年	２年	３年	備考
各学科に共通する各教科	国語		35	35	35	
	社会		17.5	17.5	17.5	
	数学		35	35	35	
	理科		17.5	17.5	17.5	
	音楽		17.5	17.5	17.5	
	美術		17.5	17.5	17.5	
	保健体育		12.25	12.25	12.25	体育理論・保健を含む
	職業		12.25	12.25	12.25	
	家庭		12.25	12.25	12.25	
	外国語		12.25	12.25	12.25	
	情報		0	0	0	
	学校設定教科					
共通教科・科目時数小計			189	189	189	
道徳科			10.5	10.5	10.5	
総合的な探究の時間			0	0	0	交流等については、特別活動等において扱う。
特別活動		ホームルーム活動	10.5	10.5	10.5	
自立活動			70	70	70	
その他小計			91	91	91	
合計			280	280	280	

様式15　高等部普通科（　Ⅱ　）課程　B類型

①　標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】
Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程）

	教科等		1年					2年					3年					備考
			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			
各学科に共通する各教科	国語		105	70	35	み	35	105	70	35	み	35	105	70	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
	社会		87.5	52.5	35	み	35	87.5	52.5	35	み	35	87.5	52.5	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
	数学		105	70	35	み	35	105	70	35	み	35	105	70	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
	理科		87.5	52.5	35	み	35	87.5	52.5	35	み	35	87.5	52.5	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
	音楽		140	70	70	み	70	140	70	70	み	70	140	70	70	み	70	
							0					0					0	
							0					0					0	
	美術		35	35	0	み	0	35	35	0	み	0	35	35	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	保健体育		35	35	0	み	0	35	35	0	み	0	35	35	0	み	0	体育理論・保健を含む
							0					0					0	
							0					0					0	
	職業		70	70	0	み	0	70	70	0	み	0	70	70	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	家庭		35	35	0	み	0	35	35	0	み	0	35	35	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	外国語		70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
	情報		0	0	0	み	0	0	0	0	み	0	0	0	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	学校設定教科		0					0					0					
			0					0					0					
共通教科時数計			770	525				770	525				770	525				
道徳科			70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
特別活動	ホームルーム活動		70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
自立活動			140	105	35	み	35	140	105	35	み	35	140	105	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
総合的な探究の時間			35					35					35					実習等として特定の期間に各教科等に替えて扱うため、「合計」欄に含めない。
合計	教科別の指導で行う時数			735					735					735				
	各教科等を合わせた指導で行う時数						350					350					350	
	総時数		1050					1050					1050					

【指導形態】

みらいタイム	350	350	350
0	0	0	0
0	0	0	0
合計	350	350	350

様式15　高等部普通科（Ⅱ課程）　　B類型

②【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	備考
みらいタイム	国語	35	35	35	
	社会	35	35	35	
	数学	35	35	35	
	理科	35	35	35	
	音楽	70	70	70	
	美術				
	保健体育				
	職業				
	家庭				
	外国語	35	35	35	
	情報				
	道徳	35	35	35	
	ﾎｰﾑﾙｰﾑ	35	35	35	
	自立活動	35	35	35	
	合計	**350**	**350**	**350**	

	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	音楽				
	美術				
	保健体育				
	職業				
	家庭				
	外国語				
	情報				
	道徳				
	ﾎｰﾑﾙｰﾑ				
	自立活動				
	合計	**0**	**0**	**0**	

	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	音楽				
	美術				
	保健体育				
	職業				
	家庭				
	外国語				
	情報				
	道徳				
	ﾎｰﾑﾙｰﾑ				
	自立活動				
	合計	**0**	**0**	**0**	

各教科等を合わせた指導合計	**350**	**350**	**350**	

様式15　高等部普通科（　訪問Ⅱ　）課程　　B類型

① 標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】
訪問教育Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程を弾力的に編成）

	教科等		1年					2年					3年					備考
			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			
各学科に共通する各教科	国語		35	26.25	8.75	み	8.75	35	26.25	8.75	み	8.75	35	26.25	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
	社会		17.5	8.75	8.75	み	8.75	17.5	8.75	8.75	み	8.75	17.5	8.75	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
	数学		35	26.25	8.75	み	8.75	35	26.25	8.75	み	8.75	35	26.25	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
	理科		17.5	8.75	8.75	み	8.75	17.5	8.75	8.75	み	8.75	17.5	8.75	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
	音楽		17.5	8.75	8.75	み	8.75	17.5	8.75	8.75	み	8.75	17.5	8.75	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
	美術		17.5	8.75	8.75	み	8.75	17.5	8.75	8.75	み	8.75	17.5	8.75	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
	保健体育		12.25	3.5	8.75	み	8.75	12.25	3.5	8.75	み	8.75	12.25	3.5	8.75	み	8.75	体育理論・保健を含む
							0					0					0	
							0					0					0	
	職業		12.25	3.5	8.75	み	8.75	12.25	3.5	8.75	み	8.75	12.25	3.5	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
	家庭		12.25	3.5	8.75	み	8.75	12.25	3.5	8.75	み	8.75	12.25	3.5	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
	外国語		12.25	3.5	8.75	み	8.75	12.25	3.5	8.75	み	8.75	12.25	3.5	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
	情報		0	0	0	み	0	0	0	0	み	0	0	0	0	み	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	学校設定教科		0					0					0					
			0					0					0					
共通教科時数計			189	101.5				189	101.5				189	101.5				
道徳科			10.5	1.75	8.75	み	8.75	10.5	1.75	8.75	み	8.75	10.5	1.75	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
特別活動		ホームルーム活動	10.5	1.75	8.75	み	8.75	10.5	1.75	8.75	み	8.75	10.5	1.75	8.75	み	8.75	
							0					0					0	
							0					0					0	
自立活動			70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	70	35	35	み	35	
							0					0					0	
							0					0					0	
総合的な探究の時間			0															
合計	教科別の指導で行う時数			140					140					140				
	各教科等を合わせた指導で行う時数						140					140					140	
	総時数		280					280					280					

【指導形態】

みらいタイム	140	140	140
0	0	0	0
0	0	0	0
合計	140	140	140

様式15　高等部普通科（Ⅱ課程）　　B類型

②【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	備考
みらいタイム	国語	8.75	8.75	8.75	
	社会	8.75	8.75	8.75	
	数学	8.75	8.75	8.75	
	理科	8.75	8.75	8.75	
	音楽	8.75	8.75	8.75	
	美術	8.75	8.75	8.75	
	保健体育	8.75	8.75	8.75	
	職業	8.75	8.75	8.75	
	家庭	8.75	8.75	8.75	
	外国語	8.75	8.75	8.75	
	情報				
	道徳	8.75	8.75	8.75	
	ﾎｰﾑﾙｰﾑ	8.75	8.75	8.75	
	自立活動	35	35	35	
	合計	**140**	**140**	**140**	

	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	音楽				
	美術				
	保健体育				
	職業				
	家庭				
	外国語				
	情報				
	道徳				
	ﾎｰﾑﾙｰﾑ				
	自立活動				
	合計	**0**	**0**	**0**	

	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	音楽				
	美術				
	保健体育				
	職業				
	家庭				
	外国語				
	情報				
	道徳				
	ﾎｰﾑﾙｰﾑ				
	自立活動				
	合計	**0**	**0**	**0**	

各教科等を合わせた指導合計	**140**	**140**	**140**	

様式８　高等部
年間行事計画

学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
一学期	4月7日	火	儀式的	1学期始業式	0	1	1	
	4月8日	水	儀式的	入学式	1	1	1	
	4月10日	金	健康安全・体育的	身体測定	1	1	1	
	5月20日	水	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	
	5月28日	木	健康安全・体育的	心電図	1	0	0	
	7月17日	金	儀式的	1学期終業式	1	1	1	
	小計				5	5	5	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
二学期	9月1日	火	儀式的	２学期始業式	1	1	1	
	9月9日	水	健康安全・体育的	地震・津波避難訓練	1	1	1	
	11月25日～27日	水～金	旅行・集団宿泊的	修学旅行	0	18	0	
	12月25日	金	儀式的	２学期終業式	1	1	1	
	小計				3	21	3	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
三学期	1月6日	水	儀式的	３学期始業式	1	1	1	
	3月12日	金	儀式的	高等部卒業式	2	2	2	
	3月18日	木	儀式的	小・中卒業式	2	2	0	
	3月19日	金	儀式的	修了式・離任式	1	1	0	
	小計				6	6	3	
合計					14	32	11	

様式９
その他特別活動の計画

１　高等部様式
生徒会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当			備考
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年	
生徒会活動	１学期	2	新入生・転入生を迎える会(1) 児童生徒総会(1)	2	2	2	
	２学期	0					
	３学期	3	生徒会役員選挙(1) 三年生を送る会(2)	3	3	3	
合計				5	5	5	

様式11 高等部

事　項		授業時数		
		1年	2年	3年
A 様式10の学年別授業時数の学年末累計を転記		1081	1070	1067
B A欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数		1081	1070	1067
特別活動（学級活動等を除く）	C 様式８（年間行事計画）の時間配当の合計を転記	14	32	11
	D C欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	14	32	11
	E 様式９（ その他特別活動の計画）の時間配当の合計を転記	5	5	5
	F E欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	5	5	5
	G D 欄＋ F 欄の時数を記入	19	37	16
H B欄－F欄の時数を記入（年間総授業時数）		1076	1065	1062

令和８年　教科書一覧

小学部

教科	出版社	教科用図書の名称
外国語活動（副読本）	文部科学省	Let‘s　Try!　1
		Let‘s　Try!　2
国語（知的障害者用）	東京書籍	こくご　☆
		こくご　☆☆
		こくご　☆☆☆
算数（知的障害者用）	教育出版	さんすう　☆
		さんすう　☆☆（１）　さんすう　☆☆（２）
		さんすう　☆☆☆
音楽（知的障害者用）	東京書籍	おんがく　☆
		おんがく　☆☆
		おんがく　☆☆☆
生活（知的障害者用）	東京書籍	せいかつ　☆
		せいかつ　☆☆
		せいかつ　☆☆☆

中学部

教科	出版社	教科用図書の名称
国語	光村図書	国語１
	教育出版	中学書写
	光村図書	国語２
国語 （知的障害者用）	東京書籍	こくご　☆
		こくご　☆☆
		こくご　☆☆☆
		国語　☆☆☆☆
		国語　☆☆☆☆☆
社会	帝国書院	社会科　中学生の地理　世界の姿と日本の国土
		社会科　中学生の歴史　日本の歩みと世界の動き
		中学校社会科地図
社会 （知的障害者用）	東京書籍	社会☆☆☆☆
		社会☆☆☆☆☆
数学	東京書籍	新編　新しい数学１
		新編　新しい数学２
算数・数学 （知的障害者用）	教育出版	さんすう　☆
		さんすう　☆☆（１） さんすう　☆☆（２）

		さんすう　☆☆☆
		数学　☆☆☆☆
		数学　☆☆☆☆☆
理科	東京書籍	新編　新しい科学１
		新編　新しい科学２
理科 （知的障害者用）	東京書籍	理科☆☆☆☆
		理科☆☆☆☆
音楽	教育芸術社	中学生の音楽１
		中学生の器楽
		中学生の音楽２・３上
音楽 （知的障害者用）	東京書籍	おんがく　☆
		おんがく　☆☆
		おんがく　☆☆☆
		音楽　☆☆☆☆
		音楽　☆☆☆☆☆
美術	光村図書	美術１
		美術１資料
		美術２・３
保健・体育	学習研究社	新・中学保健体育
技術・家庭	東京書籍	新編　新しい技術・家庭　技術分野
		新編　新しい技術・家庭　家庭分野
職業・家庭 （知的障害者用）	東京書籍	職業・家庭☆☆☆☆
		職業・家庭☆☆☆☆☆
外国語	三省堂	NEW CROWN English Series 1
		NEW CROWN English Series　2
道徳	日本文教出版	中学道徳　あすを生きる　１
		中学道徳　あすを生きる　１　道徳ノート
		中学道徳　あすを生きる　２
		中学道徳　あすを生きる　２　道徳ノート
		新版　みんなのどうとく１
		新版　みんなのどうとく２
		新版　みんなのどうとく３

高等部

教科	**出版社**	**教科用図書の名称**
算数（知的障害者用）	教育出版社	数学　☆☆☆☆☆
		さんすう　☆☆（１） さんすう　☆☆（２）
		さんすう　☆☆☆
社会（知的障害者用）	東京書籍	社会　☆☆☆☆
		社会　☆☆☆☆☆
音楽	東京書籍	MOUSA①

様式1

1　幼児児童生徒数（教育部門、部、学級種別、学年、性別毎）

教育部門	学級種別	性別	幼稚部				小学部							中学部				高等部				合計
			3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
知的障害	一般	男				0	16	15	9	12	13	7	72	11	8	5	24	23	24	16	63	159
		女				0	7	1	3	5	4	3	23	6	5	4	15	7	5	13	25	63
	計		0	0	0	0	23	16	12	17	17	10	95	17	13	9	39	30	29	29	88	222
	重複障害	男					0	4	2	1	0	2	9	1	0	4	5	7	1	6	14	28
		女					2	2	2	3	3	4	16	3	2	1	6	1	2	3	6	28
	計						2	6	4	4	3	6	25	4	2	5	11	8	3	9	20	56
	訪問	男					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	男	0	0	0	0	16	19	11	13	13	9	81	12	8	9	29	30	25	22	77	187
		女	0	0	0	0	9	3	5	8	7	7	39	9	7	5	21	8	7	16	31	91
	合計		0	0	0	0	25	22	16	21	20	16	120	21	15	14	50	38	32	38	108	278
肢体不自由	一般	男	,			0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
		女				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
	重複障害	男					1	2	1	0	1	1	6	2	4	0	6	2	1	2	5	17
		女					2	0	1	3	2	0	8	1	1	1	3	3	0	0	3	14
	計						3	2	2	3	3	1	14	3	5	1	9	5	1	2	8	31
	訪問	男					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	男	0	0	0	0	1	2	1	0	1	1	6	3	4	0	7	2	1	2	5	18
		女	0	0	0	0	2	0	1	3	2	0	8	1	1	1	3	3	0	0	3	14
	合計		0	0	0	0	3	2	2	3	3	1	14	4	5	1	10	5	1	2	8	32
病弱	一般	男				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重複障害	男					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
		女					1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	計						1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	3
	訪問	男					0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女					0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
		女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	合計		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	3
合計	一般	男	0	0	0	0	16	15	9	12	13	7	72	12	8	5	25	23	24	16	63	160
		女	0	0	0	0	7	1	3	5	4	3	23	6	5	4	15	7	5	13	25	63
	計		0	0	0	0	23	16	12	17	17	10	95	18	13	9	40	30	29	29	88	223
	重複障害	男					1	6	3	1	1	3	15	3	4	4	11	10	2	8	20	46
		女					5	2	3	6	5	4	25	5	3	2	10	4	2	3	9	44
	計						6	8	6	7	6	7	40	8	7	6	21	14	4	11	29	90
	訪問	男					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	男	0	0	0	0	17	21	12	13	14	10	87	15	12	9	36	33	26	24	83	206
		女	0	0	0	0	12	3	6	11	9	7	48	11	8	6	25	11	7	16	34	107
	合計		0	0	0	0	29	24	18	24	23	17	135	26	20	15	61	44	33	40	117	313

様式2

1　市町村(**本人**住民基本台帳)別幼児児童生徒数

教育部門	市町村	幼稚部				小学部							中学部				高等部				合計
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
知的障害	那覇市				0	21	22	14	21	20	13	111	19	15	14	48	38	32	36	106	265
	豊見城市				0	4	0	2	0	0	3	9	2	0	0	2	0	0	1	1	12
	浦添市				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	25	22	16	21	20	16	120	21	15	14	50	38	32	38	108	278
肢体不自由	那覇市				0	3	2	2	2	3	1	13	3	4	1	8	4	1	2	7	28
	豊見城市				0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1	4
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	3	2	2	3	3	1	14	4	5	1	10	5	1	2	8	32
病弱	那覇市				0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	3
	豊見城市				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	3
合計		0	0	0	0	29	24	18	24	23	17	135	26	20	15	61	44	33	40	117	313

3　学級編成表　　R８.5.1現在

学部	学級	種別	男	女	合計	学年別　計		
						男	女	計
小学部	1年1組	一般	3	2	5	17	12	**29**
	1年2組	一般	4	2	6			
	1年3組	一般	4	2	6			
	1年4組	一般	5	1	6			
	1年5組	重複	0	3	3			
	1年6組	重複	1	2	3			
	2年1組	一般	4	1	5	20	4	**24**
	2年2組	一般	5	0	5			
	2年3組	一般	5	1	6			
	2年4組	重複	3	0	3			
	2年5組	重複	1	2	3			
	2年6組	重複	2	0	2			
	3年1組	一般	5	1	6	12	6	**18**
	3年2組	一般	4	2	6			
	3年3組	重複	2	1	3			
	3年4組	重複	1	2	3			
	4年1組	一般	3	2	5	16	8	**24**
	4年2組	一般	6	0	6			
	4年3組	一般	3	3	6			
	4年4組	重複	1	2	3			
	4年5組	重複	3	0	3			
	4年6組	重複	0	1	1			
	5年1組	一般	6	0	6	14	9	**23**
	5年2組	一般	3	3	6			
	5年3組	一般	4	1	5			
	5年4組	重複	0	3	3			
	5年5組	重複	1	2	3			
	6年1組	一般	3	2	5	10	7	**17**
	6年2組	一般	4	1	5			
	6年3組	重複	1	2	3			
	6年4組	重複	1	2	3			
	6年5組	重複	1	0	1			
小学部男女小計			89	46	135	**89**	**46**	**135**
中学部	1年1組	一般	1	0	1	14	10	**24**
	1年2組	一般	4	2	6			
	1年3組	一般	3	3	6			
	1年4組	重複	4	1	5			
	1年5組	重複	1	2	3			
	1年6組	重複	1	2	3			
	2年1組	一般	4	2	6	13	9	**22**
	2年2組	一般	4	2	6			
	2年3組	一般	0	1	1			
	2年4組	重複	1	2	3			
	2年5組	重複	2	1	3			
	2年6組	重複	2	1	3			
	3年1組	一般	3	3	6	9	6	**15**
	3年2組	一般	2	1	3			
	3年3組	重複	2	1	3			
	3年4組	重複	2	1	3			
中学部男女小計			36	25	61	**36**	**25**	**61**
高等部	1年1組	一般	3	4	7	33	11	**44**
	1年2組	一般	7	1	8			
	1年3組	一般	6	2	8			
	1年4組	一般	7	0	7			
	1年5組	重複	3	0	3			
	1年6組	重複	3	0	3			
	1年7組	重複	2	1	3			
	1年8組	重複	1	1	2			
	1年9組	重複	1	2	3			
	2年1組	一般	7	1	8	26	7	**33**
	2年2組	一般	4	3	7			
	2年3組	一般	8	0	8			
	2年4組	一般	5	1	6			
	2年5組	重複	1	2	3			
	2年6組	重複	1	0	1			
	3年1組	一般	3	4	7	24	16	**40**
	3年2組	一般	5	2	7			
	3年3組	一般	4	3	7			
	3年4組	一般	4	4	8			
	3年5組	重複	2	1	3			
	3年6組	重複	2	1	3			
	3年7組	重複	2	1	3			
	3年８組	重複	2	0	2			
高等部男女小計			83	34	117	**83**	**34**	**117**
全体合計						**208**	**105**	**313**

※複式学級の学年カウントは上位学年に含まれています。

高等部卒業生進路先

1　卒業生

期	在籍			卒業生
4	男	女	計	29
	21	8	29	

2　進路先一覧　(令和8年3月31日現在)

	進路先	類型		進路先	類型
1	タウンプラザかねひでにしのまち市場	一般就職	16	ディーエンカレッジ那覇キャンパス	自立訓練
2	新光産業株式会社	一般就職	17	アトリエ種子	B型事業所
3	株式会社沖電工	一般就職	18	ゆいハート	生活介護
4	トライステップ那覇	A型事業所	19	Symphony	生活介護
5	ベーカリーハウス　きき	A型事業所	20	咲心、きらきら うみとたいよう真玉橋	生活介護
6	就労サポートセンターミラソル	就労移行	21	彩風の杜なは	生活介護
7	就労支援センターあいこ	就労移行	22	彩風の杜なは、 うみとたいよう根差部	生活介護
8	ドリームワークそてつ	就労移行	23	快、美原デイサービスとみしろ	生活介護
9	ドリームワークそてつ	就労移行	24	快、うみとたいよう八重瀬	生活介護
10	ドリームワークそてつ	就労移行	25	kukuru＋	日中一時
11	就労支援センター 大樹	就労移行	26	浦添職業能力開発校	受験予定
12	Tech Tech	就労移行	27	企業選定中	一般就職
13	Zero Step	就労移行	28	事業所選定中	就労移行
14	就労支援センターあいこharu	自立訓練	29	事業所選定中	生活介護
15	障がいサポートBBトレ	自立訓練			

卒業生 総数	就職 (予定)	進学	就労移行	A型	B型	自立訓練	生活介護	日中一時	その他
29	3	0	8	2	1	3	7	1	4

令和8年度　週時程表（那覇みらい支援学校）

小学部週時程

小学部１年

時 間	校時	月	火	水	木	金
8:40～8:55	児 童 登 校					
8:55～ 9:40(45)	１校時	1	6	11	16	21
9:50～10:35(45)	２校時	2	7	12	17	22
10:45～11:30(45)	３校時	3	8	13	18	23
11:40～12:25(45)	４校時	4	9	14	19	24
12:25～13:15(50)	給食	給　　食				
13:15～14:00(45)	５校時	5	10	15	20	25
14:00～14:10(10)	学級活動	学級活動				
14:15	下校	14:15下校				

小学部２年

時 間	校時	月	火	水	木	金
8:40～8:55	児 童 登 校					
8:55～ 9:40(45)	１校時	1	6	11	16	21
9:50～10:35(45)	２校時	2	7	12	17	22
10:45～11:30(45)	３校時	3	8	13	18	23
11:40～12:25(45)	４校時	4	9	14	19	24
12:25～13:15(50)	給食	給　　食				
13:15～14:00(45)	５校時	5	10	15	20	25
14:10～14:55(45)	６校時	学級活動	26	学級活動		
14:55～15:10(15)	学級活動	14:15 下校	学級活動	14:15下校		
15:15	下校		15:15 下校			

小学部３年

時 間	校時	月	火	水	木	金
8:40～8:55	児 童 登 校					
8:55～ 9:40(45)	１校時	1	6	12	17	23
9:50～10:35(45)	２校時	2	7	13	18	24
10:45～11:30(45)	３校時	3	8	14	19	25
11:40～12:25(45)	４校時	4	9	15	20	26
12:25～13:15(50)	給食	給　　食				
13:15～14:00(45)	５校時	5	10	16	21	27
14:10～14:55(45)	６校時	学級活動	11	学級活動	22	28
14:55～15:10(15)	学級活動	14:15 下校	学級活動	14:15 下校	学級活動	
15:15	下校		15:15 下校		15:15下校	

小学部４年～６年

時 間	校時	月	火	水	木	金
8:40～8:55	児 童 登 校					
8:55～ 9:40(45)	１校時	1	7	13	18	24
9:50～10:35(45)	２校時	2	8	14	19	25
10:45～11:30(45)	３校時	3	9	15	20	26
11:40～12:25(45)	４校時	4	10	16	21	27
12:25～13:15(50)	給食	給　　食				
13:15～14:00(45)	５校時	5	11	17	22	28
14:10～14:55(45)	６校時	6	12	学級活動	23	29
14:55～15:10(15)	学級活動	学級活動		14:15 下校	学級活動	
15:15	下校	15:15下校			15:15下校	

中学部週時程

中学部１～３年

時 間	校時	月	火	水	木	金
8:40～8:55	生 徒 登 校・ＳＨＲ					
8:55～ 9:45(50)	１校時	1	7	13	18	24
9:50～10:40(50)	２校時	2	8	14	19	25
10:45～11:35(50)	３校時	3	9	15	20	26
11:40～12:30(50)	４校時	4	10	16	21	27
12:30～13:15(45)	給食	給　　食				
13:15～14:05(50)	５校時	5	11	17	22	28
14:10～15:00(50)	６校時	6	12	学級活動	23	29
15:00～15:10(10)	学級活動	学級活動		14:15 下校	学級活動	
15:15	下校	15:15下校				

高等部週時程

高等部１～３年

時 間	校時	月	火	水	木	金
8:40～8:55	生 徒 登 校・ＳＨＲ					
8:55～ 9:45(50)	１校時	1	7	13	19	25
9:50～10:40(50)	２校時	2	8	14	20	26
10:45～11:35(50)	３校時	3	9	15	21	27
11:40～12:30(50)	４校時	4	10	16	22	28
12:30～13:15(45)	給食	給　　食				
13:15～14:05(50)	５校時	5	11	17	23	29
14:10～15:00(50)	６校時	6	12	18	24	30
15:00～15:10(10)	学級活動	学級活動				
15:15	下校	15:15下校				

特別日課①②③

①全校一斉13:30下校

時 間	校時	月	火	水	木	金
8:40～8:55	児 童 生 徒 登 校・ＳＨＲ					
8:55～ 9:45(50)	１校時					
9:50～10:40(50)	２校時					
10:45～11:35(50)	３校時					
11:40～12:30(50)	４校時					
12:30～13:15(45)	給食	給　　食				
13:30	下校	13:30下校				

②全校一斉11:45下校

時 間	校時	月	火	水	木	金
8:40～8:55	児 童 生 徒 登 校・ＳＨＲ					
8:55～ 9:45(50)	１校時					
9:50～10:40(50)	２校時					
10:45～11:35(50)	３校時					
11:45	下校	11:45下校				

③全校一斉14：15下校

※小学部は「小学部１年」の時程表参照

※中学部、高等部は「中学部」の時程表（水曜日）参照

スクールバス運行の手引き





県立那覇みらい支援学校

（令和8年度版）

目次

１　運行の基本方針（P1～3）
（1）スクールバス運用目的
（2）対象者
（3）スクールバス利用時の対象者について
（4）運行区域及び乗降車場所

２　利用上の注意とお願い（P4～20）
（1）スクールバス利用の心得
（2）運行ついての留意点
（3）スクールバス運行コース及びバス停
（4）通常日課の下校出発時刻
（5）台風接近時の登下校について
（6）各コース時刻表・登校時運行図（P7～14）
（7）下校時運行コース（通常日課）（P15～18）
（8）申し込みの方法（P19）
（9）スクールバス位置情報サービスについて（保護者向け）

３　その他・注意事項（P21）
（1）　毎日の利用について
（2）　スクールバスの定員について

Ⅰ　運行の基本方針

（1）スクールバス運行目的

自力通学や教育活動（校外学習等）において移動に困難を有する児童生徒に対して、通学及び移動手段を保障するための行政サービスである。

①　児童生徒の通学の安全確保を図る。

②　保護者等の送迎時間の負担を軽減する。

③　スクールバスの利用を通して、車内や公共交通機関のマナー等について学ぶ。

（2）対象者

①　義務教育段階（小学部・中学部）の児童生徒を対象とします。

②　高等部については、保護者からの申請があり、校長が認めた場合とします。

なお、高等部の生徒については、卒業後の自立や社会参加に向けて自力通学ができるよう、可能な限り、公共交通機関等を利用しての自力通学を保護者や地域の支援体制を構築しながら進めます。

（3）スクールバス利用の対象者について

① 自力通学が困難な児童生徒。

② 時間を厳守しバス停で保護者とともに待つことができる。

③ シートベルト等の固定で座位保持が可能である。

＊座席に座位保持シート等が必要な場合は、原則保護者が準備し、バスの乗降や固定ベルトは保護者が行います。

④ 運行を妨げる行為がないこと。（乗車中の立ち歩きや極端な自傷・他害等の行為）

⑤ スクールバス乗車中に医療的行為を必要としない。

⑥ 体調が安定しており、長時間のバス乗車に耐えうる体力があること。

※医療的ケアの有無にかかわらず、呼吸状態が不安定、てんかん発作が頻発するなど、安全確保が難しい場合は、乗車できません。

⑦ 放課後等デイサービス事業所への下校目的で利用しない

⑧ その他、学校長が特に許可した児童生徒。

（4） 運行区域及び乗降車場所

① 学校の通学区域内の幹線道路（原則、一般国道又は、路線バスが運行している道路）を運行します。

② 児童生徒が乗降するバス停は、原則、路線バスのバス停を利用します。

設定されたバス停までの送迎のご協力をお願いします。

※通学区域の規則が改正される場合は、運行コースに変更が生じる場合もあります。

2 利用上の注意とお願い

（1）スクールバス利用の心得

① 乗車前に検温と体調のチェックをお願いします。

② 送迎時は、予定時刻の**5分前**までに定められたバス停で保護者等とともに待ちます。

③ バスが完全に停まってから、介助員の指示に従い乗降車する。

④ バスの中でふざけたり、席を離れたりしないようにする。

⑤ 持ち物には必ず記名してください。（靴下、ハンカチ等）

⑥ 下校時にバス停に保護者等がいない場合学校へ戻ります。担任等から保護者へ連絡しますので、学校まで迎えにきてください。

（2）運行についての留意点

① スクールバスの運行に変更が生じる場合は、前もって学校から保護者へ連絡します。

② スクールバス出発予定時刻を**20分過ぎ**てもバスが来ない場合は、**学校へ連絡**をする。
なお、バスの位置情報サービス（スマートフォン用）を「楽メ」にて提供しますので活用してください。

③ バスの座席で使用する座位保持シート等（ジュニアシート・補助ベルト等）は、各家庭で準備をお願いします。使用する際はバス部へ連絡お願いします。

④ スクールバス利用で、実質利用が極端に少ない場合は、スクールバス運営委員会で検討し年度途中であっても他希望者に譲って頂くことがあります。 （R6.8）

⑤ スクールバス利用について、「スクールバス運行の手引き」をよく読んで確認してください。
不明な点があれば、学校へ連絡お願いします。

那覇みらい支援学校・・098−855−7831

（3）台風接近時の児童生徒の登下校について

	バスの対応	備 考
「暴風警報」「特別警報」発令中及び「公共交通機関」の運休時	臨時休校	テレビやラジオを通して「臨時休校」や「公共交通機関の運休」の報道がありますので、登校前に各自留意してご確認ください。
4:59までに「暴風警報」「特別警報」の解除及び「公共交通機関」の運行が再開となった時。	通常通り	
5:00～5:59までに「暴風警報」「特別警報」の解除及び「公共交通機関」の運行が再開となった時。	1時間遅れで運行	各バス停出発時刻も、1時間遅れとなります。「スクールバス運行の手引き」を各自ご確認ください。
6:00～6:59までに「暴風警報」「特別警報」の解除及び「公共交通機関」の運行が再開となった時。	2時間遅れで運行	各バス停出発時刻も、2時間遅れとなります。「スクールバス運行の手引き」を各自ご確認ください。

※7:00以降の「暴風警報」「特別警報」の解除及び「公共交通機関」の再開となった場合は、臨時休校となります。

※登校後「暴風警報」「特別警報」の発令が予想される場合は速やかに下校となります各担当・担任からスクールバスの出発時間を連絡します。バス停でのお迎えの時間を確認してください。

（4） スクールバス利用希望の申し込み方法

※利用の申請は毎年行います。

指定した期日までに申し込み書の提出をお願いします。

①スクールバス利用の申し込みや変更に関しては、必ず事前に申し出て、必要に応じて書類を提出する。

①**「スクールバス利用申し込み書」（様式1-1、1-2）**

※毎年、担任に提出すること。

→ スクールバス利用希望者 全員提出

②**「スクールバス利用許可書」（様式2）**

※スクールバス利用が許可された児童生徒に配布します。

③**「自力登下校（自宅⇔スクールバス停）許可申請書」（様式3）**

※保護者の責任の下、児童生徒がスクールバス停と自宅間を自力で安全に登下校可能だと判断できる場合。担任に申し出てください。

→ 自力登下校 **新規の希望者のみ提出**

④**「スクールバス利用変更承認願書」（様式4）**

※スクールバス利用者でコース等の変更がある場合、担任に申し出てください

→ **変更希望者のみ提出** ※必要時に配布

⑤スクールバスを利用しない事由が生じた場合には、必ず事前に担任を通して連絡すること。

3 その他、注意事項

(1) 毎日の利用について

① 記載時刻の５分前にはバス停で乗務員から見やすい位置でお待ちください。

雨天時や交通事情等により遅延する場合があることを、あらかじめご了承ください。

② 持ち物には、必ず記名してください。

③ トイレを済ませてから乗車させてください。バスを待っている間に排便等があった場合、そのまま乗車する事が無いようご協力をお願いします。

④ 下校時にバス停に保護者がいない場合は、学校へ戻ります。担任が連絡します、学校まで迎えに来てください。

⑤ 年度始めに利用申請した乗降場所を利用してください。

(2) スクールバスの定員について

スクールバスには定員があります。利用希望者が、定員を超える場合は、「スクールバス運営委員会」にて選考し、乗車の調整・決定することをあらかじめ御了承ください

(3) スクールバスのコース別・学部別人数について

R8.4.30 現在

	首里	小禄	真和志	泊	計
小	２６	１１	２５	１９	**８１**
中	4	3	8	１３	**２８**
高	１２	6	１１	１４	**３３**
計	**４２**	**２０**	**４４**	**４３**	**１５２**

緊急時連絡体制マニュアル**（スクールバス ver.）**

緊急事態Ａ（すぐに救急車を呼ぶ場合）

対応・向かう
連絡

発見者　「 緊急事態Ａです！」
①初期対応をする　②発生時刻確認　③経過観察

バ ス

二次対応

バス運転手

バスを安全な場所に停車

① 救急車要請
バス携帯より
「119」

○ 他生徒の安全管理
○ 発見者の応援
○ 車の誘導

② 学校に電話
098
855－7831
（搬送先病院等）

7:30前は教頭・事務長の携帯に連絡する。

介助員

初期対応

傷病者の初期対応

顔色悪い
→車いすから降ろす・横にする気道確保（下顎挙上）
＊呼吸なしの場合は人工呼吸を実施
てんかん発作（顔色が悪い・強い発作が続く）
→ 気道確保（下顎挙上）、ケガの防止
ケガ・多量の出血 → 圧迫止血
カニューレ抜去時→

救急隊へ引き継ぐ
緊急時連絡表を渡す

指定病院へ搬送

学 校

応援派遣２名

〈校長〉
総指揮者　総括・責任者

〈養護教諭〉
対応の相談・応援

〈教頭・事務長〉
陣頭指揮

〈部主事〉
各職員への連絡

〈担任・担当教諭〉
保護者へ連絡
病院へ

〈学校職員〉
対応の協力・応援

〈スクールバス利用児童生徒の担任・担当〉
保護者へ連絡し協力依頼

保護者

〈バス利用者保護者〉
・バス停で待機
・学校まで保護者で送る（登校）
・バス停車場所までの迎え協力（下校）…等